

第五次レッドリスト

分類群名:哺乳類

No. 2025 分類 順	No. 2025 区分 順	目名	科名	種名 (和名)	学名	国 リスト の区分 2020	愛知県 リスト の区分 2020	愛知県 リスト の区分 2025	備考
25	1	食肉(ネコ)	イヌ	オオカミ	<i>Canis lupus</i> Linnaeus	EX	EX	EX	
28	2	食肉(ネコ)	イタチ	ニホンカワウソ	<i>Lutra lutra</i> (Linnaeus)	EX	EX	EX	カワウソから和名変更。
30	3	食肉(ネコ)	アシカ	ニホンアシカ	<i>Zalophus japonicus</i> (Peter)	CR	EX	EX	
3	4	トガリ(モグラ)	モグラ	ミズラモグラ	<i>Oreoscaptor mizura</i> (Günther)	NT	CR	CR	
8	5	翼手(コウモリ)	ヒナコウモリ	ヤマコウモリ	<i>Nyctalus aviator</i> Thomas	VU	CR	CR	
9	6	翼手(コウモリ)	ヒナコウモリ	チチブコウモリ	<i>Barbastella darjelingensis</i> (Hodgson)	LP	CR	CR	
12	7	翼手(コウモリ)	ヒナコウモリ	ノレンコウモリ	<i>Myotis bombinus</i> Thomas	VU	CR	CR	
14	8	翼手(コウモリ)	ヒナコウモリ	コテングコウモリ	<i>Murina ussuriensis</i> Ognev		CR	CR	
26	9	食肉(ネコ)	クマ	ツキノワグマ	<i>Ursus thibetanus</i> G.Cuvier	LP	CR	CR	
10	10	翼手(コウモリ)	ヒナコウモリ	ヒナコウモリ	<i>Vespertilio sinensis</i> (Peters)		EN	EN	
13	11	翼手(コウモリ)	ヒナコウモリ	テングコウモリ	<i>Murina hilgendorfi</i> (Peters)		EN	EN	
15	12	翼手(コウモリ)	ユビナガコウモリ	ユビナガコウモリ	<i>Miniopterus fuliginosus</i> (Hodgson)		EN	EN	
23	13	齧歯(ネズミ)	リス	ニホンモモンガ	<i>Pteromys momonga</i> Temminck		EN	EN	
1	14	トガリ(モグラ)	トガリ	カワネズミ	<i>Chimarrogale platycephalus</i> (Temminck)	LP	VU	VU	
4	15	トガリ(モグラ)	モグラ	アズマモグラ	<i>Mogera imaizumii</i> (Kuroda)		VU	VU	
11	16	翼手(コウモリ)	ヒナコウモリ	モモジロコウモリ	<i>Myotis macrodactylus</i> (Temminck)		VU	VU	
20	17	齧歯(ネズミ)	ネズミ	カヤネズミ	<i>Micromys minutus</i> (Pallas)		VU	VU	
6	18	翼手(コウモリ)	キクガシラコウモリ	キクガシラコウモリ	<i>Rhinolophus ferrumequinum</i> (Schreber)		NT	NT	
7	19	翼手(コウモリ)	キクガシラコウモリ	コキクガシラコウモリ	<i>Rhinolophus cornutus</i> Temminck		NT	NT	
17	20	齧歯(ネズミ)	ヤマネ	ヤマネ	<i>Glirulus japonicus</i> (Schinz)		NT	NT	
18	21	齧歯(ネズミ)	ネズミ	スミスネズミ	<i>Craseomys smithii</i> (Thomas)		NT	NT	
19	22	齧歯(ネズミ)	ネズミ	ハタネズミ	<i>Alexandromys montebelli</i> (Milne-Edwards)		NT	NT	
21	23	齧歯(ネズミ)	リス	ニホンリス	<i>Sciurus lis</i> Temminck	LP	NT	NT	
22	24	齧歯(ネズミ)	リス	ムササビ	<i>Petaurista leucogenys</i> (Temminck)		NT	NT	
24	25	ウサギ	ウサギ	ニホンノウサギ	<i>Lepus brachyurus</i> Temminck		NT	NT	
27	26	食肉(ネコ)	イタチ	ニホンテン	<i>Martes melampus</i> (Wagner)		NT	NT	
29	27	食肉(ネコ)	イタチ	アナグマ	<i>Meles anakuma</i> Temminck		DD	NT	調査が進み、減少傾向の推定が可能になった。ニホンアナグマから和名変更。
31	28	鯨(クジラ)	ネズミイルカ	スナメリ	<i>Neophocaena asiaeorientalis</i> (Pilleri et Gühr)		NT	NT	
16	29	翼手(コウモリ)	オヒキコウモリ	オヒキコウモリ	<i>Tadarida insignis</i> (Blyth)	VU	DD	DD	
2	30	トガリ(モグラ)	トガリ	ニホンジネズミ(佐久島の個体群)	<i>Crocidura dsinezumi</i> (Temminck)		LP	LP	
5	31	トガリ(モグラ)	モグラ	コウベモグラ(名古屋城外堀の個体群)	<i>Mogera wogura</i> (Temminck)		LP	LP	
		合 計				11	31	31	-

備考

LPは地域個体群(その種の国内における生息状況を鑑み、本県において保全のための配慮が必要と考えられる特徴的な個体群)を示す。

配列の方法等(参考文献等)

目及び科の配列と名称、種の配列及び和名、学名は、原則として“The Wild Mammals of Japan, 2nd edition”(Ohdachi et al., 2015)に準拠し、必要に応じて“川田伸一郎・岩佐真宏・福井 大・新宅勇太・天野雅男・下稲葉さやか・榎 創・姉崎智子・横畑泰志, 2018. 世界哺乳類標準和名目録. 哺乳類科学58(別冊): 1-53.”等によって修正した。

第五次レッドリスト

分類群名:鳥類

No. 2025 分類 順	No. 2025 区分 順	目名	科名	種名 (和名)	学名	国 リスト の区分 2020	評価 対象 個体 群	愛知県 リスト の区分 2020	評価 対象 個体 群	愛知県 リスト の区分 2025	備考
63	1	チドリ	シギ	オオジシギ	<i>Gallinago hardwickii</i> (Gray)	NT	繁殖 通過	CR	繁殖 通過	EX	以前は県内の高原や湿地で繁殖していたが全て確認されなくなった。
64	2							VU	VU		
134	3	スズメ	ヨシキリ	コヨシキリ	<i>Acrocephalus bistrigiceps</i> Swinhoe				繁殖	EX	2000年代までは沿岸部の埋立地や湿地のヨシ原で繁殖期に確認されていたが、近年は全く確認されなくなった。
135	4								通過	CR	干拓地や埋立地の環境が乾燥化してヨシ原の面積が激減したことで、近年は繁殖期以外の季節でもほとんど確認されなくなってしまった。
141	5	スズメ	ツグミ	マミジロ	<i>Geokichla sibirica</i> (Pallas)		繁殖 通過	EX	繁殖 通過	EX	
142	6							NT	通過	EN	県内の繁殖が無くなり、渡りの季節の記録も減少している。
145	7	スズメ	ツグミ	アカハラ	<i>Turdus chrysolaus</i> Temminck		繁殖 越冬	CR	繁殖 越冬	EX	2015年以降、県境に隣接する根羽村でも繁殖期の確認が無くなった。
146	8							リスト外	越冬	リスト外	越冬個体は北方で繁殖する別亜種とされるが、識別が不明の個体も多い。
151	9	スズメ	ヒタキ	コマドリ	<i>Larvivora akahige</i> (Temminck)		繁殖 通過	CR	繁殖 通過	EX	段戸裏谷や茶臼山など県内の繁殖地では、写真撮影者の増大により繁殖が妨害されたため近年は繁殖期の生息確認が無くなった。
152	10							NT	通過	EN	春の渡りでは囀りによりその存在が確認されるが、近年その確認例が激減している。
155	11	スズメ	セキレイ	ビンズイ	<i>Anthus hodgsoni</i> Richmond		繁殖 越冬	EX	繁殖 越冬	EX	
156	12							リスト外	越冬	VU	越冬環境である松の生えた公園のような空き地が減少し、越冬期の生息数が減少している。
157	13	スズメ	ホオジロ	ホオアカ	<i>Emberiza fucata</i> Pallas		繁殖 越冬	CR	繁殖 越冬	EX	1982年以降、繁殖期に旧下山村、旧稲武町、茶臼山などで確認されていたが、2014年茶臼山での1羽を最後に繁殖期の確認が無くなっている。
158	14							リスト外	越冬	NT	県内の繁殖が無くなり、越冬期の確認数も減少傾向にある。
159	15	スズメ	ホオジロ	ノジコ	<i>Emberiza sulphurata</i> Temminck et Schlegel	NT	繁殖 通過	EX	繁殖 通過	EX	
160	16							VU	通過	EN	県内の繁殖が無くなり、近年は確認数が減少している。
50	17	チドリ	シギ	エリマキシギ	<i>Calidris pugnax</i> (Linnaeus)		通過	VU	通過	CR	転作による水田の乾燥化で餌となる土壌生物が減少し、生息環境が悪化している。沿岸部の埋立地からも淡水湿地が消失して飛来数が激減している。
54	18	チドリ	シギ	ヒバリシギ	<i>Calidris subminuta</i> (Middendorff)				通過	CR	転作による水田の乾燥化で餌となる土壌生物が減少し、生息環境が悪化している。沿岸部の埋立地からも淡水湿地が消失して飛来数が激減している。
55	19	チドリ	シギ	ヘラシギ	<i>Calidris pygmaea</i> (Linnaeus)	CR	通過	CR	通過	CR	
59	20	チドリ	シギ	シベリアオオハシシギ	<i>Limnodromus semipalmatus</i> (Blyth)	DD	通過	CR	通過	CR	
69	21	チドリ	シギ	カラフトアオアシシギ	<i>Tringa guttifer</i> (Nordmann)	CR	通過	CR	通過	CR	
70	22	チドリ	ツバメチドリ	ツバメチドリ	<i>Glareola maldivarum</i> Forster	VU	繁殖 通過	CR	繁殖 通過	CR	
71	23							EN	通過	EN	
81	24	ペリカン	サギ	ヨシゴイ	<i>Ixobrychus sinensis</i> (Gmelin)	NT	繁殖 通過	CR	繁殖 通過	CR	
82	25							CR	通過	CR	
102	26	タカ	タカ	チュウヒ	<i>Circus spilonotus</i> Kaup	EN	繁殖 越冬	CR	繁殖 越冬	CR	
103	27							VU	越冬	VU	
110	28	フクロウ	フクロウ	コノハズク	<i>Otus sunia</i> (Hodgson)		繁殖 通過	CR	繁殖 通過	CR	
111	29							VU	通過	VU	
118	30	ブッポウソウ	ブッポウソウ	ブッポウソウ	<i>Eurystomus orientalis</i> (Linnaeus)	EN	繁殖 通過	EN	繁殖 通過	CR	2010年頃まで県内における繁殖記録はほとんど無かったが、2012年に豊田市北西部の池で幼鳥を含む10羽以上が確認された。しかし、この池に大勢の写真撮影者が押しかけたため、ここでの生息は数年でほとんど消滅し、巣箱で繁殖する個体が小数存在するのみとなっている。
119	31							VU	通過	VU	
122	32	ブッポウソウ	カワセミ	ヤマセミ	<i>Megaceryle lugubris</i> (Temminck)		繁殖 越冬	CR	繁殖 越冬	CR	現在県内に於ける繁殖数は6ペア以下と推測される。
123	33							EN	越冬	CR	以前は繁殖期以外に県内の平野部でも観察されることが少なくなかったが、県内における繁殖数が激減した2000年頃から繁殖地周辺以外での確認がほとんど無くなっている。
132	34	スズメ	モズ	チゴモズ	<i>Lanius tigrinus</i> Drapiez	CR			通過	CR	環境省レッドリストでCRと評価されている。県内では極めて確認数の少ない旅鳥であったが、近年は全く確認されなくなっている。

第五次レッドリスト

分類群名:鳥類

No. 2025 分類 順	No. 2025 区分 順	目名	科名	種名 (和名)	学名	国 リスト の区分 2020	評価 対象 個体 群	愛知県 リスト の区分 2020	評価 対象 個体 群	愛知県 リスト の区分 2025	備考
133	35	スズメ	モズ	アカモズ	<i>Lanius cristatus</i> Linnaeus	EN			通過	CR	環境省レッドリストでENと評価されている。以前は渡りの季節に少数ではあるが県内各地で確認されていたが、近年その記録が全く無くなっている。
143	36	スズメ	ツグミ	クロツグミ	<i>Turdus cardis</i> Temminck				繁殖	CR	近年低標高の場所での繁殖期の確認記録が激減している。
144	37								通過	NT	近年低標高の場所での通過時の確認記録も激減している。
1	38	カモ	カモ	コクガン	<i>Branta bernicla</i> (Linnaeus)	VU			越冬	EN	環境省レッドリストでVUの評価であり、県内では主に伊勢湾・三河湾の海岸、佐久島の岩礁等で見られるが、確認数は少ない。
7	39	カモ	カモ	ピロードキンクロ	<i>Melanitta stejnegeri</i> (Ridgway)		越冬	EN	越冬	EN	
12	40	キジ	キジ	ウズラ	<i>Coturnix japonica</i> Temminck et Schlegel	VU	越冬	EN	越冬	EN	
13	41	ヨタカ	ヨタカ	ヨタカ	<i>Caprimulgus jotaka</i> Temminck et Schlegel	NT	繁殖	EN	繁殖	EN	
14	42						通過	VU	通過	VU	
28	43	カイツブリ	カイツブリ	アカエリカイツブリ	<i>Podiceps grisegena</i> (Boddaert)		越冬	EN	越冬	EN	
39	44	チドリ	チドリ	シロチドリ	<i>Charadrius alexandrinus</i> Linnaeus	VU	繁殖	VU	繁殖	EN	埋立地から繁殖や生息に必要な裸地の環境が消失し、ダムや河川敷の公園化などにより河川の砂地も消失している。
40	45						越冬	VU	越冬	VU	
41	46	チドリ	タマシギ	タマシギ	<i>Rostratula benghalensis</i> (Linnaeus)	VU	繁殖	EN	繁殖	EN	
42	47						越冬	EN	越冬	EN	
44	48	チドリ	シギ	ホウロクシギ	<i>Numenius madagascariensis</i> (Linnaeus)	VU	通過	EN	通過	EN	
46	49	チドリ	シギ	オオツリハシシギ	<i>Limosa lapponica</i> (Linnaeus)	VU	通過	EN	通過	EN	
47	50	チドリ	シギ	オグロシギ	<i>Limosa limosa</i> (Linnaeus)		通過	EN	通過	EN	
51	51	チドリ	シギ	キリアイ	<i>Calidris falcinellus</i> (Pontoppidan)		通過	EN	通過	EN	
52	52	チドリ	シギ	ウズラシギ	<i>Calidris acuminata</i> (Horsfield)		通過	EN	通過	EN	
60	53	チドリ	シギ	オオハシシギ	<i>Limnodromus scolopaceus</i> (Say)		越冬	EN	越冬	EN	
65	54	チドリ	シギ	メリケンキアシシギ	<i>Tringa incana</i> (Gmelin)		通過	EN	通過	EN	
67	55	チドリ	シギ	タカブシギ	<i>Tringa glareola</i> Linnaeus	VU	通過	EN	通過	EN	
68	56	チドリ	シギ	ツルシギ	<i>Tringa erythropus</i> (Pallas)	VU	通過	EN	通過	EN	
75	57	チドリ	カモメ	コアジサシ	<i>Sternula albifrons</i> (Pallas)	VU	繁殖	EN	繁殖	EN	
76	58						通過	VU	通過	VU	
80	59	ペリカン	サギ	サンカノゴイ	<i>Botaurus stellaris</i> (Linnaeus)	EN	通過	EN	通過	EN	
89	60	ペリカン	サギ	クロサギ	<i>Egretta sacra</i> (Gmelin)		越冬	EN	越冬	EN	
95	61	タカ	タカ	クマタカ	<i>Nisaetus nipalensis</i> Hodgson	EN	繁殖	EN	繁殖	EN	
96	62						越冬	EN	越冬	EN	
105	63	タカ	タカ	サシバ	<i>Butastur indicus</i> (Gmelin)	VU	繁殖	EN	繁殖	EN	
106	64						通過	NT	通過	NT	
108	65	フクロウ	フクロウ	アオバズク	<i>Ninox japonica</i> (Temminck et Schlegel)		繁殖	EN	繁殖	EN	
109	66						通過	VU	通過	VU	
114	67	フクロウ	フクロウ	トラフズク	<i>Asio otus</i> (Linnaeus)				越冬	EN	夜行性で確認の難しい種である。平野部や沿岸部での越冬期の記録も比較的多い種と推測されていたが、近年その数がかなり減少している。
128	68	スズメ	ヤイロチョウ	ヤイロチョウ	<i>Pitta nympha</i> Temminck et Schlegel	EN	繁殖	CR	繁殖	EN	県内で繁殖期に継続して観察される場所は限られていたが、2000年頃より他の場所でも僅かではあるが確認例が報告されるようになっていく。
129	69						通過	VU	通過	VU	
136	70	スズメ	センニュウ	オオセッカ	<i>Locustella pryeri</i> (Seeböhm)	EN	越冬	EN	越冬	EN	
139	71	スズメ	キバシリ	キバシリ	<i>Certhia familiaris</i> Linnaeus		繁殖	VU	繁殖	EN	県内で繁殖期に継続して観察されているのは段戸裏谷のみである。他にも奥三河の山地で繁殖している可能性はあるが、繁殖に適した自然林の環境はかなり減少しており、生息数もごくわずかである。
140	72						越冬	NT	越冬	VU	越冬期に繁殖地以外の場所で確認されることの少ない種であったが、近年繁殖地以外の場所での記録がほとんど無くなっている。
161	73	スズメ	ホオジロ	コジュリン	<i>Emberiza yessoensis</i> (Swinhoe)	VU	越冬	VU	越冬	EN	越冬期の生息環境であった埋立地のヨシ原が激減し、近年は確認数も減少傾向にある。

第五次レッドリスト

分類群名:鳥類

No. 2025 分類 順	No. 2025 区分 順	目名	科名	種名 (和名)	学名	国 リスト の区分 2020	評価 対象 個体 群	愛知県 リスト の区分 2020	評価 対象 個体 群	愛知県 リスト の区分 2025	備考
2	74	カモ	カモ	ツクシガモ	<i>Tadorna tadorna</i> (Linnaeus)	VU	越冬	国リスト	越冬	VU	近年飛来数の増加は見られるが、飛来場所の環境が安定していない。
3	75	カモ	カモ	オシドリ	<i>Aix galericulata</i> (Linnaeus)	DD	繁殖	NT	繁殖	VU	県内での繁殖も確認されているが、場所も数も安定していない。
4	76						越冬	リスト外	越冬	NT	越冬個体の群れは減少している。
5	77	カモ	カモ	トモエガモ	<i>Sibirionetta formosa</i> (Georgi)	VU	越冬	VU	越冬	VU	
6	78	カモ	カモ	シノリガモ	<i>Histrionicus histrionicus</i> (Linnaeus)		越冬	VU	越冬	VU	
17	79	カッコウ	カッコウ	ジュウイチ	<i>Hierococcyx hyperythrus</i> (Gould)		繁殖	VU	繁殖	VU	
18	80						通過	NT	通過	NT	
19	81	カッコウ	カッコウ	ツツドリ	<i>Cuculus optatus</i> Gould		繁殖	VU	繁殖	VU	
20	82						通過	NT	通過	NT	
21	83	カッコウ	カッコウ	カッコウ	<i>Cuculus canorus</i> Linnaeus		繁殖	VU	繁殖	VU	
22	84						通過	NT	通過	NT	
24	85	ツル	クイナ	バン	<i>Gallinula chloropus</i> (Linnaeus)		繁殖	VU	繁殖	VU	
25	86						越冬	NT	越冬	NT	
26	87	ツル	クイナ	ヒクイナ	<i>Zapornia fusca</i> (Linnaeus)	NT	繁殖	NT	繁殖	VU	転作による水田の乾燥化、開発や太陽光発電パネルの設置により繁殖環境である湿地やヨシ原が消失している。
27	88						通過	NT	通過	NT	
29	89	カイツブリ	カイツブリ	ミミカイツブリ	<i>Podiceps auritus</i> (Linnaeus)		越冬	NT	越冬	VU	飛来数が少なく、安定した定着地が無い。
31	90	チドリ	セイタカシギ	セイタカシギ	<i>Himantopus himantopus</i> (Linnaeus)	VU	繁殖	EN	繁殖	VU	県内での繁殖により繁殖個体数にはやや増加傾向が見られるが、繁殖成功率はかなり低い。
32	91						越冬	VU	越冬	NT	県内での繁殖により越冬個体数は増加傾向にあるが、僅かに残された環境にも産廃処理場などの開発計画が進められている。
33	92	チドリ	チドリ	ケリ	<i>Vanellus cinereus</i> (Blyth)	DD	繁殖	国リスト	繁殖	NT	転作による水田の乾燥化で餌となる土壤生物が減少し、繁殖環境が悪化している。
34	93						越冬	国リスト	越冬	VU	冬期の圃場が大豆や麦の畑となり、餌が消失して越冬個体が激減している。
37	94	チドリ	チドリ	イカルチドリ	<i>Charadrius placidus</i> Gray et Gray		繁殖	VU	繁殖	VU	
38	95						越冬	NT	越冬	NT	
43	96	チドリ	シギ	コシヤクシギ	<i>Numenius minutus</i> Gould	EN	通過	VU	通過	VU	
45	97	チドリ	シギ	ダイシャクシギ	<i>Numenius arquata</i> (Linnaeus)		越冬	VU	越冬	VU	
48	98	チドリ	シギ	オバシギ	<i>Calidris tenuirostris</i> (Horsfield)		通過	VU	通過	VU	
49	99	チドリ	シギ	コオバシギ	<i>Calidris canutus</i> (Linnaeus)		通過	VU	通過	VU	
53	100	チドリ	シギ	オジロトウネン	<i>Calidris temminckii</i> (Leisler)		通過	VU	通過	VU	
56	101	チドリ	シギ	トウネン	<i>Calidris ruficollis</i> (Pallas)				通過	VU	干潟の餌場環境が悪化し、沿岸部の農地から湿地環境が消失したため飛来数が激減している。
57	102	チドリ	シギ	ミユビシギ	<i>Calidris alba</i> (Pallas)		越冬	NT	越冬	VU	外洋に面した砂地に飛来して越冬するが、河川から土砂の流出が少なくなったため海岸部の砂地面積が減少している。
58	103	チドリ	シギ	ハマシギ	<i>Calidris alpina</i> (Linnaeus)	NT	越冬	VU	越冬	VU	
62	104	チドリ	シギ	アオシギ	<i>Gallinago solitaria</i> Hodgson		越冬	VU	越冬	VU	
66	105	チドリ	シギ	アカアシシギ	<i>Tringa totanus</i> (Linnaeus)	VU	通過	VU	通過	VU	
72	106	チドリ	カモメ	ズグロカモメ	<i>Saundersilarus saundersi</i> (Swinhoe)	VU	越冬	VU	越冬	VU	
79	107	ペリカン	トキ	クロツラヘラサギ	<i>Platalea minor</i> Temminck et Schlegel	EN	越冬	VU	越冬	VU	
83	108	ペリカン	サギ	ミゾゴイ	<i>Gorsachius goisagi</i> (Temminck)	VU	繁殖	EN	繁殖	VU	夜行性で確認が困難なため確認数は少ないが、半島や平野部周辺の山地でも繁殖期の生息が確認されている。
84	109						通過	VU	通過	NT	夜行性で確認が困難なため確認数は少ないが、夜間の鳴き声調査では通過個体の確認数は減少していないと推測される。
91	110	タカ	ミサゴ	ミサゴ	<i>Pandion haliaetus</i> (Linnaeus)	NT	繁殖	NT	繁殖	VU	ごく少数であるが近年県内内陸部での繁殖が確認されたため繁殖種となったが、繁殖数は少なく繁殖場所も安定していない。
92	111						越冬	リスト外	越冬	リスト外	

第五次レッドリスト

分類群名:鳥類

No. 2025 分類 順	No. 2025 区分 順	目名	科名	種名 (和名)	学名	国 リスト の区分 2020	評価 対象 個体 群	愛知県 リスト の区分 2020	評価 対象 個体 群	愛知県 リスト の区分 2025	備考
93	112	タカ	タカ	ハチクマ	<i>Pernis ptilorhynchus</i> (Temminck)	NT	繁殖	VU	繁殖	VU	
94	113						通過	NT	通過	リスト外	県内における繁殖個体数の減少は認められるが、渡りの季節に県内を通過する個体数に極端な減少傾向は認められない。
100	114	タカ	タカ	オオタカ	<i>Accipiter gentilis</i> (Linnaeus)	NT	繁殖	NT	繁殖	VU	一時は丘陵地や平地の林に繁殖分布が拡大したが、近年はこうした場所を含め、本来の繁殖地であった山地でも減少している。同じ環境で繁殖を始めたノスリの繁殖分布の拡大も要因の一つと考えられる。
101	115						越冬	NT	越冬	VU	繁殖個体数の減少により越冬個体数にも減少傾向が見られる。
104	116	タカ	タカ	ハイロチュウヒ	<i>Circus cyaneus</i> (Linnaeus)		越冬	EN	越冬	VU	越冬期の時となる沿岸部のヨシ原面積は減少しているが、近年は県内に分散して確認されている。
112	117	フクロウ	フクロウ	オオコノハズク	<i>Otus semitorques</i> Temminck et Schlegel		繁殖	VU	繁殖	VU	
113	118						越冬	NT	越冬	NT	
115	119	フクロウ	フクロウ	コミミズク	<i>Asio flammeus</i> (Pontoppidan)		越冬	VU	越冬	VU	
120	120	ブッポウソウ	カワセミ	アカショウビン	<i>Halcyon coromanda</i> (Latham)		繁殖	VU	繁殖	VU	
121	121						通過	NT	通過	NT	
124	122	キツツキ	キツツキ	オオアカガラ	<i>Dendrocopos leucotos</i> (Bechstein)		繁殖	VU	繁殖	VU	
125	123						越冬	NT	越冬	NT	
126	124	ハヤブサ	ハヤブサ	ハヤブサ	<i>Falco peregrinus</i> Tunstall	VU	繁殖	VU	繁殖	VU	
127	125						越冬	NT	越冬	NT	
137	126	スズメ	ミソサザイ	ミソサザイ	<i>Troglodytes troglodytes</i> (Linnaeus)		繁殖	NT	繁殖	VU	低山から高山、特に高標高の森で繁殖する種の代表であるが、近年その数は他の種と共に減少している。温暖化や外来種ゾウシチョウの分布拡大の影響が考えられる。
138	127						越冬	リスト外	越冬	NT	低山や平地では冬期に普通に見られる種であったが、近年その確認数に減少傾向が見られる。
149	128	スズメ	ヒタキ	コルリ	<i>Larvivora cyane</i> (Pallas)		繁殖	NT	繁殖	VU	生息環境であるスズタケの群落が近年広範囲に枯れており、同じ環境では外来種のゾウシチョウが最優占種となっている。
150	129						通過	リスト外	通過	NT	繁殖数の減少により通過個体数も減少している。
153	130	スズメ	カワガラス	カワガラス	<i>Cinclus pallasii</i> Temminck		繁殖	VU	繁殖	VU	
154	131						越冬	VU	越冬	VU	
8	132	カモ	カモ	クロガモ	<i>Melanitta americana</i> (Swainson)		越冬	NT	越冬	NT	
9	133	カモ	カモ	カワアイサ	<i>Mergus merganser</i> Linnaeus		越冬	NT	越冬	NT	
10	134	キジ	キジ	ヤマドリ	<i>Syrnaticus soemmerringii</i> (Temminck)				繁殖	NT	狩猟圧が大きく減少傾向は改善していない。
11	135								越冬	NT	狩猟圧が大きく減少傾向は改善していない。
15	136	アマツバメ	アマツバメ	ヒメアマツバメ	<i>Apus nipalensis</i> (Hodgson)				繁殖	NT	イワツバメやコシアカツバメの古巣で繁殖するが、このような環境は少ない。
16	137								越冬	NT	繁殖数が少ないため、越冬する個体も少ない。
23	138	ツル	クイナ	クイナ	<i>Rallus indicus</i> Blyth		越冬	NT	越冬	NT	
30	139	チドリ	ミヤコドリ	ミヤコドリ	<i>Haematopus ostralegus</i> Linnaeus				越冬	NT	佐久島では以前より極少数が生息しており、近年は数の増加も認められていたが、生息環境は安定していない。
35	140	チドリ	チドリ	ムナグロ	<i>Pluvialis fulva</i> (Gmelin)				越冬	NT	生息環境である湿地が太陽光発電パネルや風車で覆われ、生息できなくなった。
61	141	チドリ	シギ	ヤマシギ	<i>Scolopax rusticola</i> Linnaeus		越冬	NT	越冬	NT	
73	142	チドリ	カモメ	オオセグロカモメ	<i>Larus schistisagus</i> Stejneger	NT			越冬	NT	環境省レッドリストで新たにNTと評価された。県内では普通の冬鳥であったが、近年の温暖化により飛来数が減少している。
74	143	チドリ	カモメ	オオアジサシ	<i>Thalasseus bergii</i> (Lichtenstein)	VU	通過	VU	通過	NT	県内に定期的な飛来・生息地ができた。
77	144	コウノトリ	コウノトリ	コウノトリ	<i>Ciconia boyciana</i> Swinhoe	CR			越冬	NT	環境省レッドリストでCRの評価であり、県内では放鳥された個体の飛来が確認されるようになったが、安定していない。
78	145	カツオドリ	ウ	ヒメウ	<i>Urile pelagicus</i> (Pallas)	EN	越冬	NT	越冬	NT	
85	146	ペリカン	サギ	ゴイサギ	<i>Nycticorax nycticorax</i> (Linnaeus)				繁殖	NT	アオサギやダイサギの繁殖が多くなり、集団繁殖地での繁殖数が激減している。
86	147								越冬	NT	アオサギやダイサギの生息数が多くなり、生息数が激減している。

第五次レッドリスト

分類群名:鳥類

No. 2025 分類 順	No. 2025 区分 順	目名	科名	種名 (和名)	学名	国 リスト の区分 2020	評価 対象 個体 群	愛知県 リスト の区分 2020	評価 対象 個体 群	愛知県 リスト の区分 2025	備考
87	148	ペリカン	サギ	チュウサギ	<i>Ardea intermedia</i> Wagler	NT	繁殖 通過	国リスト	繁殖 通過	NT	アオサギやダイサギの繁殖数が多くなり、集団繁殖地での繁殖数は減少している。
88	149							国リスト	通過	NT	乾燥した農地は拡大しているが、餌となる昆虫やカエル等が減少している。
90	150	ペリカン	サギ	カラシラサギ	<i>Egretta eulophotes</i> (Swinhoe)	NT	通過	NT	通過	NT	
97	151	タカ	タカ	ツミ	<i>Accipiter gularis</i> (Temminck et Schlegel)		繁殖	NT	繁殖	NT	
98	152						通過	リスト外	通過	リスト外	
99	153	タカ	タカ	ハイタカ	<i>Accipiter nisus</i> (Linnaeus)	NT	越冬	国リスト	越冬	NT	環境省レッドリストでNTの評価であり、県内の越冬数も少なくないことでNTと評価された。
116	154	フクロウ	フクロウ	フクロウ	<i>Strix uralensis</i> Pallas		繁殖	NT	繁殖	NT	
117	155						越冬	NT	越冬	NT	
147	156	スズメ	ヒタキ	コサメビタキ	<i>Muscicapa dauurica</i> Pallas		繁殖	NT	繁殖	NT	
148	157						通過	リスト外	通過	NT	非繁殖期、主に秋の渡りの季節に平野部に観察される機会も確認数も近年激減している。
36	158	チドリ	チドリ	ダイゼンの越冬群(藤前干潟および庄内川河口周辺、汐川干潟、伊川津干潟および福江湾周辺、一色干潟、佐久島周辺)	<i>Pluvialis squatarola</i> (Linnaeus)		越冬	LP	越冬	LP	
107	159	タカ	タカ	サシバの渡り群(伊良湖岬および渥美半島の山塊群、西三河南東部の山塊群および知多半島の中南部)	<i>Butastur indicus</i> (Gmelin)	VU	通過	LP	通過	LP	
130	160	スズメ	サンショウクイ	サンショウクイ	<i>Pericrocotus divaricatus</i> (Raffles)	VU	繁殖	国リスト	繁殖	国リスト	
131	161						通過	国リスト	通過	国リスト	
		合 計	(種数及び地域個体群(LP)数の合計として)			52		94		109	-

備考

迷行的に記録される種(迷鳥)、一部の外洋性の種は選定の対象としない。
評価対象個体群として繁殖、越冬、通過の3区分を設定し、それぞれの個体群について評価を行った。
LPは地域個体群(その種の国内における生息状況を鑑み、本県において保全のための配慮が必要と考えられる特徴的な個体群)を示す。

配列の方法等(参考文献名等)

目及び科の配列と名称、種の配列及び和名、学名は、原則として「日本鳥類目録改訂第8版」(日本鳥学会, 2024)に従った。
評価対象個体群が複数存在する種については、繁殖→越冬→通過の順に配列した。また、種別の集計や過去のレッドリストとの比較にあたっては、それぞれの種の最も高いランクを用いた。

第五次レッドリスト

分類群名:爬虫類

No. 2025 分類 順	No. 2025 区分 順	目名	科名	種名 (和名)	学名	国 リスト の区分 2020	愛知県 リスト の区分 2020	愛知県 リスト の区分 2025	備考
1	1	カメ	ウミガメ	アカウミガメ	<i>Caretta caretta</i> (Linnaeus)	EN	EN	EN	
2	2	カメ	イシガメ	ニホンイシガメ	<i>Mauremys japonica</i> (Temminck et Schlegel)	NT	NT	NT	
3	3	カメ	スッポン	ニホンスッポン	<i>Pelodiscus japonicus</i> (Temminck et Schlegel)	DD	DD	DD	
4	4	有鱗	タカチホヘビ	タカチホヘビ	<i>Achalinus spinalis</i> Peters		DD	DD	
5	5	有鱗	ナミヘビ	シロマダラ	<i>Lycodon orientale</i> (Hilgendorf)		DD	DD	
6	6	有鱗	ナミヘビ	ヤマカガシ	<i>Rhabdophis tigrinus</i> (Boie)		DD	DD	
		合 計				3	6	6	-

備考

配列の方法等(参考文献名等)

目及び科の配列と名称、種の配列及び和名、学名は、原則として日本爬虫両棲類学会の「日本産爬虫両生類標準和名リスト(2024年3月11日版)」に準拠した。

第五次レッドリスト

分類群名 : 両生類

No. 2025 分類 順	No. 2025 区分 順	目名	科名	種名 (和名)	学名	国 リスト の区分 2020	愛知県 リスト の区分 2020	愛知県 リスト の区分 2025	備考
1	1	有尾	サンショウウオ	アカイシサンショウウオ	<i>Hynobius katoi</i> Matsui, Kokuryo, Misawa et Nishikawa	EN	CR	CR	
5	2	有尾	サンショウウオ	ミカワサンショウウオ	<i>Hynobius mikawaensis</i> Matsui, Misawa, Nishikawa et Shimada	CR	CR	CR	
10	3	有尾	イモリ	アカハライモリ 渥美種族	<i>Cynops pyrrhogaster</i> (Boie) (Atsumi race)		CR	CR	他地域の同種からは形態的特徴や求愛行動の違いで区別される。
11	4	無尾	アカガエル	ナガレタゴガエル	<i>Rana sakuraii</i> Matsui et Matsui		CR	CR	
3	5	有尾	サンショウウオ	ヒダサンショウウオ	<i>Hynobius kimurae</i> Dunn	NT	EN	EN	
4	6	有尾	サンショウウオ	マホロバサンショウウオ	<i>Hynobius guttatus</i> Tominaga, Matsui, Tanabe et Nishikawa	VU	EN	EN	
6	7	有尾	サンショウウオ	ヤマトサンショウウオ	<i>Hynobius vandenburghi</i> Dunn	VU	EN	EN	※1
8	8	有尾	オオサンショウウオ	オオサンショウウオ	<i>Andrias japonicus</i> (Temminck)	VU	EN	EN	
12	9	無尾	アカガエル	ナゴヤダルマガエル	<i>Pelophylax porosus brevipodus</i> (Ito)	EN	VU	VU	
2	10	有尾	サンショウウオ	ヒガシヒダサンショウウオ	<i>Hynobius fossigenus</i> Okamiya, Sugawara, Nagano et Poyarkov	VU	NT	NT	
7	11	有尾	サンショウウオ	ハコネサンショウウオ	<i>Onychodactylus japonicus</i> (Houttuyn)		NT	NT	
9	12	有尾	イモリ	アカハライモリ (中間種族)	<i>Cynops pyrrhogaster</i> (Boie) (Intermediate race)	NT	NT	NT	渥美種族に該当する個体群を除く。
14	13	無尾	アオガエル	モリアオガエル	<i>Rhacophorus arboreus</i> (Okada et Kawano)		NT	NT	
15	14	無尾	アオガエル	カジカガエル	<i>Buergeria buergeri</i> (Temminck et Schlegel)		NT	NT	
13	15	無尾	アカガエル	トノサマガエル	<i>Pelophylax nigromaculatus</i> (Hallowell)	NT	国リスト	国リスト	
		合 計				10	15	15	-

備考

※1: 本県でこれまでヤマトサンショウウオとして扱われてきた集団は、Sugawara et al. (2022) により2種に分割され、その両方が愛知県内に生息している。
この2種は命名規約上は有効であるが、種分割の妥当性に関する議論が尽くされていないとして、日本爬虫両棲類学会の標準和名リストにはいまだに掲載されていない。
このため本リストにおいてはこれを従前通りヤマトサンショウウオ1種とした。

配列の方法等(参考文献名等)

目及び科の配列と名称、種の配列及び和名、学名は、原則として日本爬虫両棲類学会の「日本産爬虫両生類標準和名リスト(2024年3月11日版)」に準拠した。

第五次レッドリスト

分類群名:汽水・淡水魚類

No. 2025 分類 順	No. 2025 区分 順	目名	科名	種名 (和名)	学名	国 リスト の区分 2020	愛知県 リスト の区分 2020	愛知県 リスト の区分 2025	備考
5	1	コイ	コイ	ヤリタナゴ	<i>Tanakia lanceolata</i> (Temminck et Schlegel)	NT	CR	CR	
8	2	コイ	コイ	イタセンバラ	<i>Acheilognathus longipinnis</i> Regan	CR	CR	CR	
12	3	コイ	コイ	ウシモツゴ	<i>Pseudorasbora pugnax</i> Kawase et Hosoya	CR	CR	CR	
13	4	コイ	コイ	カワヒガイ	<i>Sarcocheilichthys variegatus variegatus</i> (Temminck et Schlegel)	NT	CR	CR	
19	5	コイ	コイ	デモロコ	<i>Squalidus japonicus japonicus</i> (Sauvage)	VU	CR	CR	
21	6	コイ	ドジョウ	キタドジョウ	<i>Misgurnus</i> sp. (Clade A)	DD		CR	※1
27	7	ナマズ	ギギ	ネコギギ	<i>Tachysurus ichikawai</i> (Okada et Kubota)	EN	CR	CR	
43	8	スズキ	ハゼ	キセルハゼ	<i>Gymnogobius cylindricus</i> (Tomiyama)	EN	CR	CR	
45	9	スズキ	ハゼ	トウカイヨシノボリ	<i>Rhinogobius telma</i> Suzuki, Kimura et Shibukawa	NT	CR	CR	
1	10	ヤツメウナギ	ヤツメウナギ	スナヤツメ類	<i>Lethenteron</i> spp.	VU	EN	EN	※2
2	11	ウナギ	ウナギ	ニホンウナギ	<i>Anguilla japonica</i> Temminck et Schlegel	EN	EN	EN	
10	12	コイ	コイ	カワバタモロコ	<i>Hemigrammocypripis rasborella</i> Fowler	EN	EN	EN	
24	13	コイ	ドジョウ	トウカイコガタスジシマドジョウ	<i>Cobitis minamorii tokaiensis</i> Nakajima	EN	EN	EN	
25	14	コイ	フクドジョウ	ホトケドジョウ	<i>Lefua echigonia</i> Jordan et Richardson	EN	EN	EN	
26	15	コイ	フクドジョウ	トウカイナガレホトケドジョウ	<i>Lefua tokaiensis</i> Ito, Hosoya et Miyazaki	EN	EN	EN	
35	16	スズキ	カジカ	カマキリ(アユカケ)	<i>Rheopresbe kazika</i> (Jordan et Starks)	VU	EN	EN	
36	17	スズキ	カジカ	カジカ	<i>Cottus pollux</i> Günther	NT	EN	EN	
39	18	スズキ	ドンコ	ドンコ	<i>Odontobutis obscura</i> (Temminck et Schlegel)		EN	EN	
20	19	コイ	ドジョウ	ドジョウ	<i>Misgurnus anguillicaudatus</i> (Cantor)	NT	VU	VU	
22	20	コイ	ドジョウ	ニシシマドジョウ	<i>Cobitis</i> sp. BIWAE type B		VU	VU	
29	21	キュウリウオ	シラウオ	シラウオ	<i>Salangichthys microdon</i> (Bleeker)		VU	VU	
34	22	ダツ	メダカ	ミナメダカ	<i>Oryzias latipes</i> (Temminck et Schlegel)	VU	VU	VU	
37	23	スズキ	カジカ	ウツセミカジカ	<i>Cottus reinii</i> Hilgendorf	EN	VU	VU	
46	24	スズキ	ハゼ	トビハゼ	<i>Periophthalmus modestus</i> Cantor	NT	VU	VU	
47	25	スズキ	ハゼ	ヒモハゼ	<i>Eutaeniichthys gilli</i> Jordan et Snyder	NT	VU	VU	
48	26	スズキ	ハゼ	ボウズハゼ	<i>Sicyopterus japonicus</i> (Tanaka)		VU	VU	
49	27	スズキ	ハゼ	マサゴハゼ	<i>Pseudogobius masago</i> (Tomiyama)	VU	VU	VU	
15	28	コイ	コイ	ゼゼラ	<i>Biwia zezera</i> (Ishikawa)	VU	NT	NT	
18	29	コイ	コイ	イトモロコ	<i>Squalidus gracilis gracilis</i> (Temminck et Schlegel)		NT	NT	
28	30	ナマズ	アカザ	アカザ	<i>Liobagrus reini</i> Hilgendorf	VU	NT	NT	
40	31	スズキ	カワアナゴ	カワアナゴ	<i>Eleotris oxycephala</i> Temminck et Schlegel		NT	NT	
41	32	スズキ	ハゼ	エドハゼ	<i>Gymnogobius macrognathos</i> (Bleeker)	VU	NT	NT	
42	33	スズキ	ハゼ	オオヨシノボリ	<i>Rhinogobius fluviatilis</i> Tanaka		NT	NT	
3	34	コイ	コイ	コイ(在来型)	<i>Cyprinus carpio</i> Linnaeus	LP	DD	DD	野生種は絶滅の可能性が高いが、標本等で確認がなされていない。
6	35	コイ	コイ	アブラボテ	<i>Tanakia limbata</i> (Temminck et Schlegel)	NT	DD	DD	
7	36	コイ	コイ	イチモンジタナゴ	<i>Acheilognathus cyanostigma</i> Jordan et Fowler	CR	DD	DD	移入の疑義あり(矢作川で過去に採れた個体は全て移入であった)。
9	37	コイ	コイ	シロヒレタビラ	<i>Acheilognathus tabira tabira</i> Jordan et Thompson	EN	DD	DD	古い採集記録もあるが、現在の分布は移入の疑義がある。
32	38	サケ	サケ	サツキマス・アマゴ	<i>Oncorhynchus masou ishikawae</i> (Brevoort)	NT	DD	DD	減少していると考えられるが、放流種苗を除く野生種の現状が不明。
33	39	ダツ	サヨリ	クルマサヨリ	<i>Hyporhamphus intermedius</i> (Cantor)	NT	DD	DD	減少していると考えられるが、採集記録が少なく評価が困難。
44	40	スズキ	ハゼ	チワラスボ	<i>Taenioides snyderi</i> Jordan et Hubbs	EN	DD	DD	記録が少なく評価が困難。
4	41	コイ	コイ	ゲンゴロウブナ	<i>Carassius cuvieri</i> (Temminck et Schlegel)	EN	国リスト	国リスト	県内で確認されるものは移入個体。
11	42	コイ	コイ	ハス	<i>Opsariichthys uncirostris</i> (Temminck et Schlegel)	VU	国リスト	国リスト	県内で確認されるものは移入個体。
14	43	コイ	コイ	ホンモロコ	<i>Gnathopogon caerulescens</i> (Sauvage)	CR	国リスト	国リスト	県内で確認されるものは移入個体。
16	44	コイ	コイ	ツチブキ	<i>Abbottina rivularis</i> (Basilewsky)	EN	国リスト	国リスト	県内で確認されるものは移入個体。
17	45	コイ	コイ	スゴモロコ	<i>Squalidus chankaensis biwae</i> (Jordan et Snyder)	VU	国リスト	国リスト	県内で確認されるものは移入個体。
23	46	コイ	ドジョウ	オオガタスジシマドジョウ	<i>Cobitis magnostriata</i> Nakajima	EN	国リスト	国リスト	県内で確認されるものは移入個体。

第五次レッドリスト

分類群名:汽水・淡水魚類

No. 2025 分類 順	No. 2025 区分 順	目名	科名	種名 (和名)	学名	国 リスト の区分 2020	愛知県 リスト の区分 2020	愛知県 リスト の区分 2025	備考
30	47	サケ	サケ	ニッコウイワナ	<i>Salvelinus leucomaenis pluvius</i> (Hilgendorf)	DD	国リスト	国リスト	県内で確認されるものは移入個体。
31	48	サケ	サケ	サクラマス(ヤマメ)	<i>Oncorhynchus masou masou</i> (Brevoort)	NT	国リスト	国リスト	県内で確認されるものは移入個体。
38	49	スズキ	ケツギョ	オヤニラミ	<i>Coreoperca kawamebari</i> (Temminck et Schlegel)	EN	国リスト	国リスト	県内で確認されるものは移入個体。
		合 計				42	48	49	-

備考

※1:本種は従前ドジョウと考えられていたが、同水系で混生しても生殖隔離が成立することから、2008年にMisgurnus sp. (Clade A) として扱われるようになり、2017年に和名が提唱された。
県内ではごく限られた水域でのみ生息が確認されている。
※2:スナヤツメはスナヤツメ北方種と南方種に細分化され、本県では現時点で南方種のみ確認されているが、北方種の存在も否定できないためスナヤツメ類とした。

配列の方法等(参考文献等)

目及び科の配列と名称、種の配列及び和名、学名は、原則として「グリーンデータブックあいち2018 汽水・淡水魚類編」を基に、新しい知見を加え整理した。

第五次レッドリスト

分類群名:昆虫類

No. 2025 分類 順	No. 2025 区分 順	目名	科名	種名 (和名)	学名	国 リスト の区分 2020	愛知県 リスト の区分 2020	愛知県 リスト の区分 2025	備考
48	1	カメムシ	ナベブタムシ	トゲナベブタムシ	<i>Aphelocheirus nawae</i> Nawa	VU	EX	EX	
72	2	コウチュウ	ゲンゴロウ	マルガタゲンゴロウ	<i>Graphoderus adamsii</i> (Clark)	VU	EX	EX	
73	3	コウチュウ	ゲンゴロウ	コガタノゲンゴロウ	<i>Cybister tripunctatus lateralis</i> Fabricius	VU	EX	EX	
76	4	コウチュウ	ゲンゴロウ	シャープゲンゴロウモドキ	<i>Dytiscus sharpi</i> Wehncke	CR	EX	EX	
78	5	コウチュウ	ゲンゴロウ	スジゲンゴロウ	<i>Hydaticus satoi</i> Wewalka	EX	EX	EX	
79	6	コウチュウ	ゲンゴロウ	マダラシマゲンゴロウ	<i>Hydaticus thermonectoides</i> Sharp	CR	EX	EX	
82	7	コウチュウ	オサムシ	フタモンマルクビゴミムシ	<i>Nebria pulcherrima pulcherrima</i> Bates	EN	EX	EX	
83	8	コウチュウ	オサムシ	キベリマルクビゴミムシ	<i>Nebria livida angulata</i> Bänninger	EN	CR	EX	正確な記録が途絶えて50年以上経ち、本種の生息環境は県内に見当たらない。
84	9	コウチュウ	オサムシ	シロヘリハンミョウ	<i>Callytron yuasai yuasai</i> (Nakane)	NT	EN	EX	正確な記録が途絶えて50年以上経ち、本種の生息環境は県内に見当たらない。
85	10	コウチュウ	オサムシ	カワラハンミョウ	<i>Chaetodera laetescripta laetescripta</i> (Motschulsky)	EN	EX	EX	
90	11	コウチュウ	オサムシ	コハンミョウモドキ	<i>Elaphrus punctatus</i> Motschulsky	EN	EN	EX	正確な記録が途絶えて50年以上経ち、本種の生息環境は県内に見当たらない。
98	12	コウチュウ	オサムシ	オオサカアオゴミムシ	<i>Callistoides pericallus</i> Redtenbacher	DD		EX	河川改修により生息地がなくなり絶滅。
101	13	コウチュウ	オサムシ	エチゴトクリゴミムシ	<i>Oodes echigonus</i> Habu et Baba	NT		EX	正確な記録が途絶えて50年以上経ち、本種の生息環境は県内に見当たらない。
130	14	コウチュウ	コガネムシ	クロモンマグソコガネ	<i>Aphodius variabilis</i> Waterhouse	NT	EN	EX	生息地の河川敷改修により、生息地がなくなった。
133	15	コウチュウ	コガネムシ	スジマグソコガネ	<i>Aphodius rugosostriatus</i> Waterhouse			EX	都市化により、生息地が消失した。
136	16	コウチュウ	コガネムシ	マルエンマコガネ	<i>Onthophagus viduus</i> Harold		EX	EX	
178	17	コウチュウ	カミキリムシ	ヒメビロウドカミキリ	<i>Acalolepta degener</i> (Bates)	NT	EX	EX	
180	18	コウチュウ	カミキリムシ	アサカミキリ	<i>Thyestilla gebleri</i> (Faldermann)	VU	EX	EX	
206	19	チョウ	シジミチョウ	シルビアシジミ	<i>Zizina emelina</i> (de l'Orza)	EN	EX	EX	
210	20	チョウ	タテハチョウ	ヒョウモンモドキ	<i>Melitea scotosia</i> Butler	CR	EX	EX	
213	21	チョウ	タテハチョウ	オオウラギンヒョウモン	<i>Fabriciana nerippe</i> (C. et R. Felder)	CR	EX	EX	
1	22	トンボ	アオイイトンボ	コバネアオイイトンボ	<i>Lestes japonicus</i> Selys	EN	CR	CR	
8	23	トンボ	ヤンマ	アオヤンマ	<i>Aeschnophlebia longistigma</i> Selys	NT	EN	CR	現存産地が西尾市(旧一色町)だけとなった。
19	24	トンボ	エゾトンボ	エゾトンボ	<i>Somatochlora viridiaenea</i> (Uhler)		VU	CR	確実な産地がなくなった。
22	25	トンボ	トンボ	マダラナニワトンボ	<i>Sympetrum maculatum</i> Oguma	EN	CR	CR	
27	26	トンボ	トンボ	オオキトンボ	<i>Sympetrum uniforme</i> (Selys)	EN	CR	CR	
28	27	トンボ	トンボ	ベッコウトンボ	<i>Libellula angelina</i> Selys	CR	CR	CR	
47	28	カメムシ	コバンムシ	コバンムシ	<i>Ilyocoris cimicoides exclamationis</i> (Scott)	EN	CR	CR	
60	29	コウチュウ	コガシラミズムシ	クロホシコガシラミズムシ	<i>Haliplus basinotatus</i> Zimmermann	VU		CR	ため池の浚渫や改修により、生息地の消失が懸念される。
65	30	コウチュウ	ミズスマシ	コミズスマシ	<i>Gyrinus curtus</i> Motschulsky	EN	EN	CR	ため池や河川敷改修により生息地が無くなり、記録も30年以上途絶えている。
66	31	コウチュウ	ミズスマシ	ミズスマシ	<i>Gyrinus japonicus</i> Sharp	VU	EN	CR	大部分の生息地で生息条件が明らかに悪化しつつある。
70	32	コウチュウ	コツブゲンゴロウ	ムモンチビコツブゲンゴロウ	<i>Neohydrocoptus</i> sp.	VU		CR	ため池の水質悪化や、生息池の埋め立てなど。
75	33	コウチュウ	ゲンゴロウ	ゲンゴロウ	<i>Cybister chinensis</i> Motschulsky	VU	EN	CR	かつての生息地で最近まったく確認できていない。
77	34	コウチュウ	ゲンゴロウ	シマゲンゴロウ	<i>Hydaticus bowringi</i> Clark	NT	NT	CR	農薬の影響が心配されている。
87	35	コウチュウ	オサムシ	ホソハンミョウ	<i>Cylindera gracilis</i> Pallas	VU	EN	CR	かつての生息地で最近まったく確認できていない。
88	36	コウチュウ	オサムシ	セアカオサムシ	<i>Hemicarabus tuberculosus</i> (Dejean et Boisduval)	NT	EN	CR	40年近く追加記録がなく、かつての生息地は環境が変わってしまっている。
97	37	コウチュウ	オサムシ	ヒトツメアオゴミムシ	<i>Callistoides deliculus</i> (Bates)	NT	VU	CR	かつての生息地で最近まったく確認できていない。
99	38	コウチュウ	オサムシ	クビナガキベリアオゴミムシ	<i>Chlaenius prostenus</i> Bates	DD	VU	CR	かつての生息地で最近まったく確認できていない。
100	39	コウチュウ	オサムシ	スナハラゴミムシ	<i>Diplocheila elongata</i> (Bates)	VU		CR	かつての生息地で最近まったく確認できていない。
122	40	コウチュウ	ホソガムシ	チュウブホソガムシ	<i>Hydrochus chubu</i> Balfour-Browne et M.Satô	VU		CR	海岸の護岸工事などによる生息地の池そのものの消失が懸念される。
124	41	コウチュウ	ガムシ	ガムシ(オオガムシ)	<i>Hydrophilus acuminatus</i> Motschulsky	NT	VU	CR	15年位前から野外調査で姿を見かけなくなった。早急の調査が必要。
126	42	コウチュウ	ガムシ	エンデンチビマルガムシ	<i>Paracymus aeneus</i> (Germar)			CR	汽水域湿地の護岸工事などによる生息地そのものの消失が懸念される。
127	43	コウチュウ	クワガタムシ	ツヤハダクワガタ	<i>Ceruchus lignarius monticola</i> Nakane		EN	CR	かつての生息地で最近まったく確認できていない。
128	44	コウチュウ	クワガタムシ	オオクワガタ	<i>Dorcus hopei binodulosus</i> Waterhouse	VU	CR	CR	
129	45	コウチュウ	クワガタムシ	ヒメオオクワガタ	<i>Dorcus montivagus montivagus</i> (Lewis)		EN	CR	かつての生息地で最近まったく確認できていない。
134	46	コウチュウ	コガネムシ	コスジマグソコガネ	<i>Aphodius lewisi</i> C.O.Waterhouse			CR	平野の牧場が減少して日向の牛馬糞がなくなり、生息環境が低山地のシカ糞のみとなった。
142	47	コウチュウ	ハネカクシ	ヤマトモンシデムシ	<i>Nicrophorus japonicus</i> Harold	NT	VU	CR	都市化により、生息環境がなくなった。シデムシ科から科名変更。

第五次レッドリスト

分類群名:昆虫類

No. 2025 分類 順	No. 2025 区分 順	目名	科名	種名 (和名)	学名	国 リスト の区分 2020	愛知県 リスト の区分 2020	愛知県 リスト の区分 2025	備考
144	48	コウチュウ	アカハネムシ	オカモトツヤアナハネムシ	<i>Pedilus okamotoi</i> (Kôno)		NT	CR	森林の乾燥が懸念される。
146	49	コウチュウ	ナガクチキムシ	ミスジナガクチキ	<i>Stenoxylita trialbofasciata</i> (Hayashi et Kato)		NT	CR	森林の乾燥が懸念される。
165	50	コウチュウ	カミキリムシ	タケウチホソハナカミキリ	<i>Strongalia takeuchii</i> Matsushita et Tamanuki		CR	CR	
170	51	コウチュウ	カミキリムシ	チャイロヒメコブハナカミキリ	<i>Macropidonia japonica japonica</i> (Ohbayashi)		CR	CR	
195	52	チョウ	シロチョウ	スジボソヤマキチョウ	<i>Gonepteryx aspasia nipponica</i> Bollow		CR	CR	
200	53	チョウ	シジミチョウ	ハヤシドリシジミ	<i>Favonius ultramarinus</i> (Fixsen)		CR	CR	
204	54	チョウ	シジミチョウ	ミヤマカラスシジミ	<i>Strymonidia mera</i> (Janson)		CR	CR	
205	55	チョウ	シジミチョウ	クロシジミ	<i>Niphandia fusca</i> (Bremer et Grey)	EN	CR	CR	
208	56	チョウ	シジミチョウ	ヒメシジミ	<i>Plebejus argus micrargus</i> (Butler)	NT	CR	CR	
209	57	チョウ	シジミチョウ	ゴマシジミ	<i>Maculinea teleius kazamoto</i> (H. Druce)	CR	CR	CR	
222	58	チョウ	セセリチョウ	チャマダラセセリ	<i>Pyrgus maculatus</i> (Bremer et Grey)	EN	CR	CR	
225	59	チョウ	セセリチョウ	ホシチャバネセセリ	<i>Aeromachus inachus</i> (Ménétrières)	EN	CR	CR	
3	60	トンボ	モノサントンボ	グンバイトンボ	<i>Platycnemis sasakii</i> Asahina	NT	EN	EN	
5	61	トンボ	イトトンボ	オオイトトンボ	<i>Paracercion sieboldii</i> (Selys)		EN	EN	
7	62	トンボ	イトトンボ	ヒヌマイトトンボ	<i>Mortonagrion hirosei</i> Asahina	EN	EN	EN	
12	63	トンボ	サナエトンボ	オグマサナエ	<i>Trigomphus ogumai</i> (Asahina)	NT	VU	EN	生息環境悪化により減少。
16	64	トンボ	サナエトンボ	メガネサナエ	<i>Stylurus oculatus</i> (Asahina)	VU	EN	EN	
20	65	トンボ	エゾトンボ	ハネヒロエゾトンボ	<i>Somatochlora clavata</i> Oguma	VU	VU	EN	確実な産地がなくなった。
26	66	トンボ	トンボ	キトンボ	<i>Sympetrum croceolum croceolum</i> (Selys)		EN	EN	
30	67	バッタ	ヒバリモドキ	ハマスズ	<i>Dianemobius csikii</i> (Bolivar)		EN	EN	
44	68	カメムシ	コオイムシ	タガメ	<i>Kirkaldyia deyrolli</i> (Vuillefroy)	VU	EN	EN	
61	69	コウチュウ	コガシラミズムシ	キイロコガシラミズムシ	<i>Haliphus eximius</i> Clark	VU	EN	EN	
62	70	コウチュウ	コガシラミズムシ	ヒメコガシラミズムシ	<i>Haliphus ovalis</i> Sharp		NT	EN	ため池の水質悪化や、生息池の埋め立てなど。
64	71	コウチュウ	ミズスマシ	オオミズスマシ	<i>Dineutus orientalis</i> Modeer	NT	NT	EN	大部分の生息地で生息条件が明らかに悪化しつつある。
93	72	コウチュウ	オサムシ	ツツイキバナガミズギワゴミムシ	<i>Bembidion tsutsuii</i> (S. Uéno)	NT	EN	EN	
95	73	コウチュウ	オサムシ	ハバメクラビゴミムシ	<i>Trechiana habeii</i> (S. Uéno)		EN	EN	
103	74	コウチュウ	オサムシ	ジャアナヒラタゴミムシ	<i>Jujiroa ana</i> (S. Uéno)	VU	VU	EN	最近、極端に見つからなくなった。
106	75	コウチュウ	オサムシ	ダンドナガゴミムシ	<i>Pterostichus dandonis dandonis</i> Kasahara			EN	シカ食害とスズタケの消失により、生息地の森林の乾燥化が進んでいる。
107	76	コウチュウ	オサムシ	セトナガゴミムシ	<i>Pterostichus taoi</i> Kasahara			EN	林床の乾燥化により、生息環境が減少してきている。
123	77	コウチュウ	ホソガムシ	ヤマトホソガムシ	<i>Hydrochus japonicus</i> Sharp	NT	NT	EN	ため池の水質悪化や、生息池の埋め立てなど。
131	78	コウチュウ	コガネムシ	オオフタホシマグソコガネ	<i>Aphodius elegans Alliberi</i>			EN	牧場周辺の住民から、衛生環境の改善要望等により 牧場が山間部へ新設移転したり、また牧場の廃業など生息環境が減少したため。
150	79	コウチュウ	ゴミムシダマシ	ヒメカクスナゴミムシダマシ	<i>Gonocephalum terminale</i> Reichardt			EN	河川および海岸砂浜などの生息地そのものの消失が懸念される。
160	80	コウチュウ	カミキリムシ	ヒメツスジハナカミキリ	<i>Leptura kusamai kusamai</i> Ohbayashi et Nakane		EN	EN	
163	81	コウチュウ	カミキリムシ	イガブチヒゲハナカミキリ	<i>Stictoleptura igai</i> (Tamanuki)		EN	EN	
176	82	コウチュウ	カミキリムシ	ヨツボシカミキリ	<i>Stenygrium quadrinotatum</i> Bates	EN	EN	EN	ただし、本種は古い時代の移入種である可能性がある。
196	83	チョウ	シジミチョウ	ムモンアカシジミ	<i>Shirozua jonasi</i> (Janson)		VU	EN	産地が局限され、その生息条件が悪化し、個体数の減少がみられる。
207	84	チョウ	シジミチョウ	クロツバメシジミ	<i>Tongeia fischeri</i> (Eversmann)	NT	EN	EN	
215	85	チョウ	タテハチョウ	ヒメヒカゲ	<i>Coenonympha oedippus</i> ssp.	EN	EN	EN	
218	86	チョウ	タテハチョウ	ウラジャノメ	<i>Lopinga achine achinoides</i> (Butler)		EN	EN	
221	87	チョウ	タテハチョウ	クロヒカゲモドキ	<i>Lethe marginalis</i> Motschulsky	EN	EN	EN	
226	88	チョウ	セセリチョウ	スジクロチャバネセセリ	<i>Thymelicus leoninus</i> (Butler)	NT	EN	EN	かつての生息地における野外調査で姿を見かけなくなった。
227	89	チョウ	セセリチョウ	コキマダラセセリ	<i>Ochlodes venatus</i> (Bremer et Grey)		VU	EN	吸蜜植物が激減し、またその生息条件が明らかに悪化しつつある。
228	90	チョウ	セセリチョウ	ミヤマチャバネセセリ	<i>Pelopidas jansonis</i> (Butler)		EN	EN	
4	91	トンボ	イトトンボ	ベニイトトンボ	<i>Ceriagrion nipponicum</i> Asahina	NT	VU	VU	
6	92	トンボ	イトトンボ	モートンイトトンボ	<i>Mortonagrion selenion</i> (Ris)	NT	NT	VU	生息環境悪化により減少。
13	93	トンボ	サナエトンボ	コサナエ	<i>Trigomphus melampus</i> (Selys)		EN	VU	豊田市(旧小原村)で新産地が発見された。
14	94	トンボ	サナエトンボ	フタスジサナエ	<i>Trigomphus interruptus</i> (Selys)	NT	VU	VU	

第五次レッドリスト

分類群名:昆虫類

No. 2025 分類 順	No. 2025 区分 順	目名	科名	種名 (和名)	学名	国 リスト の区分 2020	愛知県 リスト の区分 2020	愛知県 リスト の区分 2025	備考
17	95	トンボ	サナエトンボ	キイロサナエ	<i>Asiagomphus pryeri</i> (Selys)	NT	NT	VU	生息環境悪化により減少。
18	96	トンボ	エゾトンボ	トラフトンボ	<i>Epithea marginata</i> (Selys)		NT	VU	生息環境悪化により減少。
50	97	カメムシ	イトアメンボ	イトアメンボ	<i>Hydrometra albolineata</i> (Scott)	VU	VU	VU	
53	98	カメムシ	アメンボ	ババアメンボ	<i>Gerris babai</i> Miyamoto	NT	VU	VU	
59	99	コウチュウ	コガシラミズムシ	クビボソコガシラミズムシ	<i>Halipilus japonicus</i> Sharp	DD	NT	VU	ため池の水質悪化や、生息地の埋め立てなど。
74	100	コウチュウ	ゲンゴロウ	クロゲンゴロウ	<i>Cybister brevis</i> Aubé	NT	VU	VU	
86	101	コウチュウ	オサムシ	アイヌハンミョウ	<i>Cicindela gemmata aino</i> Lewis	NT	NT	VU	河川敷改修により、生息地が減っている。
89	102	コウチュウ	オサムシ	カワラゴミムシ	<i>Omophron aequale aequale</i> Morawitz		NT	VU	河川敷改修により、生息地が減っている。
91	103	コウチュウ	オサムシ	オオヒョウタンゴミムシ	<i>Scarites sulcatus sulcatus</i> Olivier	NT	VU	VU	
92	104	コウチュウ	オサムシ	キバネキバナガミズギワゴミムシ	<i>Bembidion aestuarii</i> S.Uéno et Habu	VU	NT	VU	河川敷改修などにより、生息地が減っている。
94	105	コウチュウ	オサムシ	ハマベゴミムシ	<i>Pogonus japonicus</i> Putzeys	NT	VU	VU	
109	106	コウチュウ	タマムシ	クロマダラタマムシ	<i>Nipponobuprestis querceti</i> (Saunders)		VU	VU	
111	107	コウチュウ	ヒメドロムシ	クロサワドロムシ	<i>Neorihelms kurosawai</i> Nomura		VU	VU	
113	108	コウチュウ	コメツキムシ	シタラミヤマヒサゴコメツキ	<i>Homotechnes motsulskyi</i> suzuki Ōhira		VU	VU	
115	109	コウチュウ	コメツキムシ	ツヤヒラタコメツキ	<i>Aganohypoganus mirabilis</i> (Miwa)		VU	VU	
140	110	コウチュウ	コガネムシ	オオチャイロハナムグリ	<i>Osmoderma opicum</i> Lewis	NT	VU	VU	
143	111	コウチュウ	ハネカクシ	オオツノハネカクシ	<i>Bledius salsus</i> Miyatake	DD	VU	VU	
167	112	コウチュウ	カミキリムシ	クビアカハナカミキリ	<i>Carilia atripennis</i> (Matsushita)			VU	森林の乾燥が懸念される。
181	113	コウチュウ	ハムシ	カツラネクイハムシ	<i>Donacia katsurai</i> Kimoto		VU	VU	
189	114	トビケラ	ニンギョウトビケラ	コブニンギョウトビケラ	<i>Larcasia akagiae</i> Nishimoto et Tanida		VU	VU	
192	115	トビケラ	フトヒゲトビケラ	ヒトスジキソトビケラ	<i>Psilotreata japonica</i> Banks		VU	VU	
193	116	チョウ	アゲハチョウ	ギフチョウ	<i>Luehdorfia japonica</i> Leech	VU	VU	VU	
198	117	チョウ	シジミチョウ	ウラクロシジミ	<i>Iratsume orsedice</i> (Butler)		VU	VU	
199	118	チョウ	シジミチョウ	フジミドリシジミ	<i>Shibatanozeophyrus fujisanus</i> (Matsumura)		VU	VU	
201	119	チョウ	シジミチョウ	エゾミドリシジミ	<i>Favonius jezeensis</i> (Matsumura)		VU	VU	
211	120	チョウ	タテハチョウ	ウラギンシジミウモン	<i>Argyronome laodice japonica</i> (Ménétrières)	VU	VU	VU	
216	121	チョウ	タテハチョウ	ウラナミジャノメ	<i>Ypthima multistriata</i> Butler	VU	VU	VU	
224	122	チョウ	セセリチョウ	ホソバセセリ	<i>Isoteinon lamprospilus</i> C. et R. Felder		NT	VU	大部分の産地で生息環境が悪化し、個体数の減少がみられる。
9	123	トンボ	ヤンマ	ネアカヨシヤンマ	<i>Aeschnophlebia anisoptera</i> Selys	NT	NT	NT	
15	124	トンボ	サナエトンボ	ナゴヤサナエ	<i>Stylurus nagoyanus</i> (Asahina)	VU	NT	NT	
21	125	トンボ	ヤマトンボ	キイロヤマトンボ	<i>Macromia daimoji</i> Okumura	NT	NT	NT	
23	126	トンボ	トンボ	ノシメトンボ	<i>Sympetrum infuscatum</i> (Selys)		NT	NT	
24	127	トンボ	トンボ	マイコアカネ	<i>Sympetrum kunkeli</i> (Selys)			NT	生息環境悪化により減少。
25	128	トンボ	トンボ	ミヤマアカネ	<i>Sympetrum pedemontanum</i> (Muller in Allioni)			NT	生息環境悪化により減少。
33	129	バッタ	クツワムシ	タイワンクツワムシ	<i>Mecopoda elongata</i> (Linnaeus)		NT	NT	
35	130	バッタ	バッタ	ヤマトバッタ	<i>Epacromius japonicus</i> (Shiraki)		NT	NT	
36	131	カマキリ	カマキリ	ヒナカマキリ	<i>Amantis nawai</i> (Shiraki)		NT	NT	
37	132	ゴキブリ	オオゴキブリ	オオゴキブリ	<i>Panesthia angustipennis spadica</i> (Shiraki)		NT	NT	
38	133	ゴキブリ	チャバネゴキブリ	クロモンチビゴキブリ	<i>Anaplecta japonica</i> Asahina			NT	都市化により、生息地の消失が懸念される。
39	134	カメムシ	アカジマウンカ	ニホンアカジマウンカ	<i>Ommatidiotus japonicus</i> Y.Hori		NT	NT	
40	135	カメムシ	タイコウチ	タイコウチ	<i>Laccotrephes japonensis</i> Scott		DD	NT	生息環境悪化により減少。以前記録のあった場所で確認できない。
41	136	カメムシ	タイコウチ	ヒメタイコウチ	<i>Nepa hoffmanni</i> Esaki		NT	NT	
42	137	カメムシ	タイコウチ	ミズカマキリ	<i>Ranatra chinensis</i> Mayr		DD	NT	生息環境悪化により減少。以前記録のあった場所で確認できない。ただし、越冬前や越冬明けなどの分散時期には市街地のため池などで確認される。
45	138	カメムシ	ミズムシ	ホッケミズムシ	<i>Hesperocorixa distant hokkensis</i> Matsumura	NT	DD	NT	県内の沿岸部のため池で新たな生息地が確認されたものの、本種の生息地であるガマやヨシなどの抽水植物の生育するため池は近年減少しており、生息地における確認数も少ない。
49	139	カメムシ	ナベバタムシ	ナベバタムシ	<i>Aphelocheirus vittatus</i> Matsumura		NT	NT	

第五次レッドリスト

分類群名:昆虫類

No. 2025 分類 順	No. 2025 区分 順	目名	科名	種名 (和名)	学名	国 リスト の区分 2020	愛知県 リスト の区分 2020	愛知県 リスト の区分 2025	備考
51	140	カメムシ	カタビロアメンボ	オヨギカタビロアメンボ	<i>Xiphovelia japonica</i> Esaki et Miyamoto	NT	DD	NT	新たな生息地が確認されたものの、既存の生息地と同じ水系の河川であり、その生息場所も狭い。県内の生息地は矢作川水系やその周辺のため池に限られている。
52	141	カメムシ	アメンボ	オオアメンボ	<i>Aquarius elongatus</i> (Uhler)		NT	NT	
54	142	カメムシ	アメンボ	エサキアメンボ	<i>Limnporus esakii</i> (Miyamoto)	NT	NT	NT	
58	143	アミメカゲロウ	ウスバカゲロウ	オオウスバカゲロウ	<i>Heoclisia japaniea</i> (MacLachlan)			NT	海岸の護岸工事などによる生息地そのものの消失が懸念される。
63	144	コウチュウ	コガシラミズムシ	マダラコガシラミズムシ	<i>Halipilus sharpi</i> Wehncke	VU	NT	NT	
67	145	コウチュウ	ミズスマシ	コオナガミズスマシ	<i>Orectochilus punctipennis</i> Sharp	VU	NT	NT	
68	146	コウチュウ	コツブゲンゴロウ	ムツボシツブコツブゲンゴロウ	<i>Canthydrus politus</i> (Sharp)	VU	NT	NT	
69	147	コウチュウ	コツブゲンゴロウ	キボシチビコツブゲンゴロウ	<i>Neohydrocoptus bivittis</i> (Motschulsky)	EN	NT	NT	
71	148	コウチュウ	ゲンゴロウ	トダセシゲンゴロウ	<i>Copelatus nakamurai</i> Guéorguiev	VU	NT	NT	
80	149	コウチュウ	ゲンゴロウ	マルチビゲンゴロウ	<i>Leiodytes frontalis</i> (Sharp)	NT	NT	NT	
81	150	コウチュウ	ゲンゴロウ	サメハダマルケシゲンゴロウ	<i>Hydrovatus stridulus</i> Biström		NT	NT	
102	151	コウチュウ	オサムシ	オオトックリゴミムシ	<i>Oodes vicarius</i> Bates	NT	NT	NT	
104	152	コウチュウ	オサムシ	ホラズミヒラタゴミムシ	<i>Jujiroa troglodytes</i> S.Uéno		NT	NT	
110	153	コウチュウ	タマムシ	トゲフタオタマムシ	<i>Dicerca tibialis</i> Lewis		NT	NT	
112	154	コウチュウ	ヒメドロムシ	ヨコミドロムシ	<i>Leptelmis gracilis</i> Sharp	VU	NT	NT	
114	155	コウチュウ	コメツキムシ	サトヤマシモフリコメツキ	<i>Actenicerus kidonoi</i> Ôhira		NT	NT	
116	156	コウチュウ	コメツキムシ	ジウジミズギワコメツキ	<i>Flautiauxellus cruciatus</i> (Candèze)		NT	NT	
117	157	コウチュウ	コメツキムシ	アカアシコハナコメツキ	<i>Paracardiophorus sequens sequens</i> (Candèze)		NT	NT	
120	158	コウチュウ	エンマムシ	アラメエンマムシ	<i>Zabromorphus punctulatus</i> (Wiedemann)		NT	NT	
125	159	コウチュウ	ガムシ	アリアケキヒロヒラタガムシ	<i>Enochrus bicolor</i> (Fabricius)			NT	汽水域湿地の護岸工事などによる生息地そのものの消失が懸念される。
132	160	コウチュウ	コガネムシ	ヨツボシマグソコガネ	<i>Aphodius sordidus sordidus</i> (Fabricius)			NT	牧場周辺の住民から、衛生環境の改善要望等により 牧場が山間部へ新設移転したり、また牧場の廃業など 生息環境が減少したため。
135	161	コウチュウ	コガネムシ	ヤマトケシマグソコガネ	<i>Psammodytes japonicus</i> Harold		NT	NT	
137	162	コウチュウ	コガネムシ	ヤマトアオドウガネ	<i>Anomala japonica</i> Arrow		NT	NT	
138	163	コウチュウ	コガネムシ	アカマダラハナムグリ	<i>Poecilophilides rusticola</i> (Burmeister)	DD	NT	NT	
139	164	コウチュウ	コガネムシ	クロカナブン	<i>Rhomborrhina polita</i> Waterhouse		NT	NT	
148	165	コウチュウ	ゴミムシダマシ	オオマルチビゴミムシダマシ	<i>Caedius maderi</i> Kaszab			NT	海岸の護岸工事などによる生息地そのものの消失が懸念される。
149	166	コウチュウ	ゴミムシダマシ	シナスナゴミムシダマシ	<i>Gonocephalum klapperichi</i> Kaszab			NT	河川敷の護岸工事などによる生息地そのものの消失が懸念される。
151	167	コウチュウ	オオキノコムシ	オオキノコムシ	<i>Encaustes prae-nobilis</i> Lewis		NT	NT	
152	168	コウチュウ	チビゾウムシ	ヒシチビゾウムシ	<i>Nanophyes japonicus</i> Roelofs		NT	NT	
155	169	コウチュウ	ゾウムシ	バッキンガムカギアシゾウムシ	<i>Bagous buckingami</i> O'brien et Morimoto		NT	NT	
159	170	コウチュウ	ゾウムシ	ハマベゾウムシ	<i>Aphela gotoi</i> (Chûjō et Voss)		NT	NT	
161	171	コウチュウ	カミキリムシ	ヒゲブトハナカミキリ	<i>Pachypidonia bodemeyeri</i> Pic		NT	NT	
166	172	コウチュウ	カミキリムシ	ヒラヤマコブハナカミキリ	<i>Enoploclerus bicolor</i> K.Ohbayashi			NT	森林の乾燥が懸念される。
168	173	コウチュウ	カミキリムシ	トサヒメハナカミキリ	<i>Pidonia approximata</i> Kuboki		NT	NT	
169	174	コウチュウ	カミキリムシ	ヤマトヒメハナカミキリ	<i>Pseudopidonia yamato</i> (Hayashi et Mizuno)			NT	森林の乾燥が懸念される。
171	175	コウチュウ	カミキリムシ	フタコブルリハナカミキリ	<i>Japanocorus coeruleipennis</i> (Bates)		NT	NT	
172	176	コウチュウ	カミキリムシ	ケブカマルクビカミキリ	<i>Atimia okayamensis</i> Hayashi		NT	NT	
173	177	コウチュウ	カミキリムシ	クロホソコバネカミキリ	<i>Necydalis harmandi</i> Pic			NT	森林の乾燥が懸念される。
174	178	コウチュウ	カミキリムシ	ヒゲシロホソコバネカミキリ	<i>Necydalis odai</i> Hayashi		NT	NT	
175	179	コウチュウ	カミキリムシ	オオホソコバネカミキリ	<i>Necydalis solida</i> Bates		NT	NT	
177	180	コウチュウ	カミキリムシ	セダカコブヤハズカミキリ	<i>Parechthistatus gibber</i> (Bates)			NT	シカ食害により森林の乾燥が懸念される。
179	181	コウチュウ	カミキリムシ	ヨコヤマヒゲナガカミキリ	<i>Dolichoprosopus yokoyamai</i> (Gressitt)		NT	NT	
182	182	コウチュウ	ハムシ	オオミズクサハムシ(オオネクイハムシ)	<i>Plateumaris constricticollis</i> (Jacoby)		NT	NT	和名変更(別名追記)
183	183	コウチュウ	ハムシ	キヌツヤミズクサハムシ(スゲハムシ)	<i>Plateumaris sericea</i> (Linnaeus)		NT	NT	
187	184	トビケラ	ナガレトビケラ	オオナガレトビケラ	<i>Himalopsyche japonica</i> (Morton)	NT	NT	NT	

第五次レッドリスト

分類群名:昆虫類

No. 2025 分類 順	No. 2025 区分 順	目名	科名	種名 (和名)	学名	国 リスト の区分 2020	愛知県 リスト の区分 2020	愛知県 リスト の区分 2025	備考
188	185	トビケラ	コエグリトビケラ	イワコエグリトビケラ	<i>Manophylax futabae</i> Nishimoto		NT	NT	
190	186	トビケラ	ヒゲナガトビケラ	モセリーヒゲナガトビケラ	<i>Leptocerus moselyi</i> (Martynov)		NT	NT	
191	187	トビケラ	ホソバトビケラ	イトウホソバトビケラ	<i>Molannodes itoae</i> Fuller et Wiggins		NT	NT	
194	188	チョウ	シロチョウ	ツマグロキチョウ	<i>Eurema lacta betheseba</i> (Janson)	EN	NT	NT	発生地が極限され近年野外調査で確認が難しくなっている。
197	189	チョウ	シジミチョウ	オナガシジミ	<i>Araragi enthea enthea</i> (Janson)		NT	NT	
202	190	チョウ	シジミチョウ	オオミドリシジミ	<i>Favonius orientalis</i> (Murray)		NT	NT	
212	191	チョウ	タテハチョウ	オオウラギンスジヒョウモン	<i>Argyronome ruslana</i> (Motschulsky)		NT	NT	
214	192	チョウ	タテハチョウ	オオムラサキ	<i>Sasakia charonda charonda</i> (Hewitson)	NT	NT	NT	
219	193	チョウ	タテハチョウ	オオヒカゲ	<i>Ninguta schrenckii</i> (Ménétrières)		NT	NT	
223	194	チョウ	セセリチョウ	ギンイチモンジセセリ	<i>Leptalina unicolor</i> (Bremer et Grey)	NT	NT	NT	
230	195	チョウ	ツトガ	エンスイミズメイガ	<i>Eristena argentata</i> Yoshiyasu		DD	NT	生息環境が特定できたため、情報不足から準絶滅危惧に評価された。
231	196	チョウ	ツトガ	ヒメコムズメイガ	<i>Parapoynx rectilinealis</i> Yoshiyasu		NT	NT	
232	197	チョウ	アゲハモドキガ	フジキオビ	<i>Schistomitra funeralis</i> Butler		NT	NT	
233	198	チョウ	シャクガ	クシヒゲハイロヒメシヤク	<i>Antilycauges pinguis</i> (Swinhoe)			NT	海岸の砂浜に生育する塩生植物につく。生息環境が不安定。
235	199	チョウ	シャチホコガ	カバイロシャチホコ	<i>Ramesa tosta</i> Walker	NT	NT	NT	
236	200	チョウ	ヤガ	シラユキコヤガ	<i>Eulocastra sasakii</i> Sugi	VU	NT	NT	
239	201	チョウ	ヤガ	オオキヒロアツバ	<i>Pseudalelimma miwai</i> Inoue		NT	NT	
240	202	チョウ	ヤガ	カバフキシタバ	<i>Catocala mirifica</i> Butler		NT	NT	
242	203	チョウ	ヤガ	オオチャバネトウ	<i>Nonagria puengeleri</i> (Schawerda)	VU	NT	NT	
243	204	チョウ	ヤガ	キスジウスキヨトウ	<i>Capsula sparganii</i> (Esper)	VU	NT	NT	
244	205	チョウ	ヤガ	エチゴハガタヨトウ	<i>Asidemia inexpecta</i> (Sugi)		NT	NT	
246	206	チョウ	ヤガ	エソスジヨトウ	<i>Doerriesa striata</i> (Staudinger)	VU	NT	NT	
247	207	チョウ	ヤガ	サヌキキリガ	<i>Elwesia sugii</i> Yoshimoto		NT	NT	
249	208	チョウ	ヤガ	イセキリガ	<i>Agrochola sakabei</i> Sugi		NT	NT	
251	209	ハチ	クビナガキバチ	アカズクビナガキバチ	<i>Euxiphydria potanini</i> (Jakovlev)		NT	NT	
252	210	ハチ	コマユバチ	ウマノオバチ	<i>Euurobracon yokahamae</i> (Dalla Torre)	NT	NT	NT	
253	211	ハチ	セイボウ	フタツバトゲセイボウ	<i>Elampus bidens tristis</i> Tsuneki		NT	NT	
262	212	ハチ	アナバチ	キゴシジガバチ	<i>Sceliphron madraspatanum kohli</i> Sickmann		NT	NT	
263	213	ハチ	ギングチバチ	ニッポンハナダカバチ	<i>Bembix niponica</i> F.Smith	VU	NT	NT	
264	214	ハチ	ギングチバチ	ササキリギングチ	<i>Ectemnius furuichii</i> (Iwata)	NT	NT	NT	
266	215	ハチ	ミツバチ	キヌゲハキリバチ	<i>Megachile kobensis</i> Cockerell		NT	NT	
29	216	ナナフシ	ナナフシ	エダナナフシ	<i>Phraortes elongatus</i> (Thunberg)		DD	DD	
31	217	バッタ	カマドウマ	チビクチキウマ	<i>Anoplophilus minor</i> Ishikawa		DD	DD	
32	218	バッタ	カマドウマ	ミカワチキウマ	<i>Anoplophilus okadai</i> Ishikawa		DD	DD	
34	219	バッタ	ヒシバッタ	ギフヒシバッタ	<i>Tetrix gifuensis</i> Storozhenko, Ichikawa et Uchida		DD	DD	
57	220	カメムシ	キンカメムシ	ニシキキンカメムシ	<i>Poecilocoris splendidulus</i> Esaki		DD	DD	
96	221	コウチュウ	オサムシ	チイワメクラチビゴミムシ	<i>Trechiana mammalis</i> S.Uéno		DD	DD	
105	222	コウチュウ	オサムシ	キバナガヒラタゴミムシ	<i>Onycholabis nakanei</i> Kasahara			DD	1979年に北設楽郡豊根村で確認されたのみで情報が不足している。
108	223	コウチュウ	ツブミズムシ	クロサワツブミズムシ	<i>Satonius kurosawai</i> (M.Satō)		DD	DD	
118	224	コウチュウ	ホタル	ヘイケボタル	<i>Luciola lateralis</i> Motschulsky			DD	ため池の水質悪化や、生息池の埋め立てなど。
119	225	コウチュウ	エンマムシ	クロエンマムシ	<i>Hister concolor</i> Lewis		DD	DD	
121	226	コウチュウ	エンマムシ	エンマムシ	<i>Merohister jekeli</i> (Marseul)		DD	DD	
141	227	コウチュウ	コガネムシ	トラハナムグリ	<i>Trichius japonicus</i> Janson		DD	DD	
145	228	コウチュウ	ツチハンミョウ	ヨツボシゲンセイ	<i>Megatrachelus politus</i> (Gebler)			DD	1852年以降の確認情報がなく、情報が不足している。
147	229	コウチュウ	ゴミムシダマシ	キアシアオハムシダマシ	<i>Arthromacra flavipes</i> Nakane			DD	1968年に豊田市稲武町で確認されたのみで情報が不足している。
153	230	コウチュウ	ゾウムシ	チビコバンゾウムシ	<i>Miarus vestitus</i> Roelofs		DD	DD	
154	231	コウチュウ	ゾウムシ	カギアシゾウムシ	<i>Bagous bipunctatus</i> (Kono)		DD	DD	
156	232	コウチュウ	ゾウムシ	コカギアシゾウムシ	<i>Bagous fractus</i> O'brien et Morimoto		DD	DD	

第五次レッドリスト

分類群名:昆虫類

No. 2025 分類 順	No. 2025 区分 順	目名	科名	種名 (和名)	学名	国 リスト の区分 2020	愛知県 リスト の区分 2020	愛知県 リスト の区分 2025	備考
157	233	コウチュウ	ゾウムシ	フタホシカギアシゾウムシ	<i>Bagous kagiashi</i> Chujo et Morimoto		DD	DD	
158	234	コウチュウ	ゾウムシ	ヤヤコブカギアシゾウムシ	<i>Bagous spicatus</i> O'brien et Morimoto		DD	DD	
162	235	コウチュウ	カミキリムシ	ベニバハナカミキリ	<i>Paranaspia anaspidoidea</i> (Bates)		DD	DD	
164	236	コウチュウ	カミキリムシ	ヒメアカハナカミキリ	<i>Brachyleptura pyrrha</i> (Bates)		DD	DD	
184	237	コウチュウ	ハムシ	キオビクビボソハムシ	<i>Lama delicatula</i> Baly		DD	DD	
185	238	コウチュウ	ハムシ	ヒメカバノキハムシ	<i>Symeta brevitibialis</i> Kimoto		DD	DD	
186	239	ハエ	カ	トワダオオカ	<i>Toxorhynchites towadensis</i> (Matsumura)		DD	DD	
203	240	チョウ	シジミチョウ	キリシマドリシジミ	<i>Chrysuzephyrus ataxus kirishimaensis</i> (Okajima)			DD	2019年5月13日に新城市七郷一色で記録されるが、その後の記録はない。
217	241	チョウ	タテハチョウ	ツマジロウラジヤノメ	<i>Lasiommata deidamia interrupta</i> (Fruhstorfer)		DD	DD	
220	242	チョウ	タテハチョウ	キマダラモドキ	<i>Kirinia fentoni</i> (Butler)	NT	DD	DD	
241	243	チョウ	ヤガ	マダラウスズミケンモン	<i>Acronicta subornata</i> (Leech)		DD	DD	
250	244	チョウ	ヤガ	ウスベニキヨトウ	<i>Mythimna pudorina</i> (Denis et Shiffermüller)		DD	DD	
255	245	ハチ	コツチバチ	ホソツヤアリバチ	<i>Methocha yasumatsui</i> Iwata		DD	DD	
2	246	トンボ	カワトンボ	アオハダトンボ	<i>Calopteryx japonica</i> Selys	NT	国リスト	国リスト	
10	247	トンボ	ヤンマ	マダラヤンマ	<i>Aeshna mixta</i> Latreille	NT	国リスト	国リスト	県内で確認される個体は移入個体。
11	248	トンボ	サナエトンボ	タバサナエ	<i>Trigomphus citimus</i> (Needham)	NT	国リスト	国リスト	
43	249	カメムシ	コオイムシ	コオイムシ	<i>Appasus japonicus</i> Vuillefroy	NT	国リスト	国リスト	
46	250	カメムシ	ミズムシ	ミヤケミズムシ	<i>Xenocorixa vittipennis</i> (Horváth)	NT	国リスト	国リスト	
55	251	カメムシ	ヒョウタンナガカメムシ	アシナガナガカメムシ	<i>Poentius lineatus</i> Stål	NT	国リスト	国リスト	
56	252	カメムシ	ツチカメムシ	シロヘリツチカメムシ	<i>Canthophorus niveimarginatus</i> Scott	NT	国リスト	国リスト	
229	253	チョウ	ボクトウガ	ハイイロボクトウ	<i>Pharagmataecia castaneae</i> (Hübner)	NT	国リスト	国リスト	
234	254	チョウ	ヤママユガ	オナガミズアオ	<i>Actias gnoma</i> (Butler)	NT	国リスト	国リスト	
237	255	チョウ	ヤガ	キシタアツバ	<i>Hypena claripennis</i> (Butler)	NT	国リスト	国リスト	
238	256	チョウ	ヤガ	カギモンハナオイアツバ	<i>Cidariplura signata</i> (Butler)	NT	国リスト	国リスト	
245	257	チョウ	ヤガ	ギンモンアカヨトウ	<i>Plusilla rosalia</i> Staudinger	VU	国リスト	国リスト	
248	258	チョウ	ヤガ	ウスミモンキリガ	<i>Eupsilia contracta</i> (Butler)	NT	国リスト	国リスト	
254	259	ハチ	セイボウ	オオセイボウ	<i>Stilbum cyanurum</i> (Foerster)	DD	国リスト	国リスト	環境省リストでは本土亜種。
256	260	ハチ	クモバチ	アオスジクモバチ	<i>Paracyphononyx alienus</i> (Smith)	DD	国リスト	国リスト	環境省リストではアオスジベッコウ。
257	261	ハチ	アリ	ケブカツヤオオアリ	<i>Camponotus nipponensis</i> Santschi	DD	国リスト	国リスト	
258	262	ハチ	アリ	トゲアリ	<i>Polyrhachis lamellidens</i> F. Smith	VU	国リスト	国リスト	
259	263	ハチ	スズメバチ	キオビホオナガスズメバチ	<i>Dolichovespula media sugare</i> Ishikawa	DD	国リスト	国リスト	環境省リストでは本州亜種。
260	264	ハチ	スズメバチ	ヤマトアシナガバチ	<i>Polistes japonicus japonicus</i> Saussre	DD	国リスト	国リスト	
261	265	ハチ	スズメバチ	モンスズメバチ	<i>Vespa crabro flavofasciata</i> Cameron	DD	国リスト	国リスト	
265	266	ハチ	ギングチバチ	カラトイスカバチ	<i>Passaloecus koreanus</i> Tsuneki	DD	国リスト	国リスト	
267	267	ハチ	ミツバチ	マイマイツツハナバチ	<i>Osmia orientalis</i> Benoist	DD	国リスト	国リスト	
268	268	ハチ	ミツバチ	ルリモンハナバチ	<i>Thyreus decorus</i> (Smith)	DD	国リスト	国リスト	
		バッタ	マツムシ	クチキコオロギ	<i>Duolandrevus ivani</i> (Gorochoy)		NT		海岸林に広く生息することが判った。また、海岸から遠く離れた名古屋市内の森林でも生息が確認されている。
		合 計				129	237	268	-

備考

表中の着色部は、今回の見直しによってリストから除外された種を示す。

配列の方法等(参考文献等)

目及び科の配列と名称、種の配列及び和名、学名は、原則として「グリーンデータブックあいち2018 昆虫編」を基に、新しい知見を加え整理した。
なお、チョウ目については、チョウ類とガ類に区分し、チョウ類・ガ類の順に配列した。

第五次レッドリスト

分類群名:クモ類

No. 2025 分類 順	No. 2025 区分 順	目名	科名	種名 (和名)	学名	国 リスト の区分 2020	愛知県 リスト の区分 2020	愛知県 リスト の区分 2025	備考
22	1	クモ	ホラヒメグモ	ミカワホラヒメグモ	<i>Nesticus mikawanus</i> Yaginuma		CR	CR	
26	2	クモ	キシダグモ	ババハシリグモ	<i>Dolomedes fontus</i> Tanikawa et Miyashita		CR	CR	
39	3	クモ	ツチフクログモ	ミヤマシボグモモドキ	<i>Zora nemoralis</i> (Blackwall)		CR	CR	
5	4	クモ	ユウレイグモ	アケボノユウレイグモ	<i>Belisana akebona</i> (Komatsu)		EN	EN	
6	5	クモ	ヒメグモ	シロタマヒメグモ	<i>Enoplognatha margarita</i> Yaginuma		EN	EN	
7	6	クモ	コガネグモ	キジロオヒキグモ	<i>Arachnura logio</i> Yaginuma		EN	EN	
8	7	クモ	コガネグモ	コケオニグモ	<i>Araneus seminiger</i> (L.Koch)		EN	EN	
16	8	クモ	コガネグモ	マメタイセキグモ	<i>Ordgarius hobsoni</i> (O. P.-Cambridge)		EN	EN	
17	9	クモ	コガネグモ	ムツトゲイセキグモ	<i>Ordgarius sexspinosus</i> (Thorell)		EN	EN	
19	10	クモ	コガネグモ	ワクドツキシグモ	<i>Pasilobus hupingensis</i> Yin, Bao et Kim		EN	EN	
21	11	クモ	アシナガグモ	チクニドヨウグモ	<i>Metleucauge chikunii</i> Tanikawa		EN	EN	
23	12	クモ	サラグモ	キヌキリグモ	<i>Herbiphantes cericeus</i> (S. Saito)		EN	EN	
24	13	クモ	サラグモ	キノボリキヌキリグモ	<i>Herbiphantes longiventris</i> Tanasevitch		EN	EN	別名キハダキヌキリグモ。
27	14	クモ	サシアシグモ	シノビグモ	<i>Shinobius orientalis</i> (Yaginuma)		EN	EN	
28	15	クモ	コモリグモ	エビチャコモリグモ	<i>Arctosa ebicha</i> Yaginuma		EN	EN	
29	16	クモ	コモリグモ	シッチコモリグモ	<i>Hygrolycosa umidicola</i> Tanaka		EN	EN	
30	17	クモ	コモリグモ	イサゴコモリグモ	<i>Pardosa isago</i> Tanaka		EN	EN	
32	18	クモ	コモリグモ	テジロハリグコモリグモ	<i>Pardosa yamanoi</i> Tanaka et Suwa		EN	EN	
35	19	クモ	カニグモ	カトウツケオグモ	<i>Phrynarachne katoi</i> Tikuni		EN	EN	
38	20	クモ	アワセグモ	アワセグモ	<i>Selenops bursarius</i> Karsch		EN	EN	
1	21	クモ	ジグモ	ワスレナグモ	<i>Calommata signata</i> Karsch	NT	VU	VU	
2	22	クモ	カネコトタテグモ	カネコトタテグモ	<i>Antrodiaetus roretzi</i> (L. Koch)	NT	VU	VU	
3	23	クモ	トタテグモ	キノボリトタテグモ	<i>Conothele fragaria</i> (Dönitz)	NT	VU	VU	
4	24	クモ	トタテグモ	キシノウエトタテグモ	<i>Latouchia typica</i> (Kishida)	NT	VU	VU	
9	25	クモ	コガネグモ	ニシキオニグモ	<i>Araneus variegatus</i> Yaginuma		VU	VU	
15	26	クモ	コガネグモ	トゲグモ	<i>Gasteracantha kuhli</i> C. L. Koch		VU	VU	
18	27	クモ	コガネグモ	ツシマトリノフンダマシ	<i>Paraplectana tsushimensis</i> Yamaguchi		VU	VU	
31	28	クモ	コモリグモ	カコウコモリグモ	<i>Pardosa nojimai</i> Tanaka		VU	VU	
34	29	クモ	カニグモ	アシナガカニグモ	<i>Heriaeus mellotteei</i> Simon		VU	VU	
36	30	クモ	カニグモ	オビボソカニグモ	<i>Xysticus trizonatus</i> Ono		VU	VU	

10	31	クモ	コガネグモ	コガネグモ	<i>Argiope amoena</i> L. Koch		NT	NT	
11	32	クモ	コガネグモ	オオトリノフンダマシ	<i>Cyrtarachne akirai</i> Tanikawa		NT	NT	
12	33	クモ	コガネグモ	トリノフンダマシ	<i>Cyrtarachne bufo</i> (Bösenberg et Strand)		NT	NT	
13	34	クモ	コガネグモ	シロオビトリノフンダマシ	<i>Cyrtarachne nagasakiensis</i> Strand		NT	NT	
14	35	クモ	コガネグモ	アカイロトリノフンダマシ	<i>Cyrtarachne yunoharuensis</i> Strand		NT	NT	
20	36	クモ	コガネグモ	ゲホウグモ	<i>Polys illepidus</i> C. L. Koch		NT	NT	
33	37	クモ	コモリグモ	ミナミコモリグモ	<i>Piratula meridionalis</i> (Tanaka)		NT	NT	
37	38	クモ	ハチグモ	オビジガバチグモ	<i>Castianeira shaxianensis</i> Gong		NT	NT	
25	39	クモ	スオウグモ	ムロズミノレグモ	<i>Takeoa nishimurai</i> (Yaginuma)		DD	DD	
		合 計				4	39	39	-

備考

配列の方法等(参考文献名等)

目及び科の配列と名称、種の配列及び和名、学名は、原則として「グリーンデータブックあいち2018 クモ編」を基に、新しい知見を加え整理した。

第五次レッドリスト

分類群名: 貝類

No. 2025 分類 順	No. 2025 区分 順	生息 環境 区分	目名 (上科名)	科名	種名 (和名)	学名	国 リスト の区分 2020	愛知県 リスト の区分 2020	愛知県 リスト の区分 2025	備考
127	1	淡水	モノアラガイ	ヒラマキガイ	カワネジガイ	<i>Camptoceras hirasei</i> Walker	CR	EX	EX	
129	2	淡水	モノアラガイ	ヒラマキガイ	ヒダリマキモノアラガイ	<i>Culmenella rezvoji</i> (Lindholm)	CR+EN	EX	EX	
215	3	淡水	イシガイ	イシガイ	オバエボシガイ	<i>Inversidens brandti</i> (Kobelt)	VU	EX	EX	
216	4	淡水	イシガイ	イシガイ	ヨコハマシジラガイ	<i>Inversunio jokohamensis</i> (Ihering)	NT	EX	EX	
30	5	内湾	オニノツノガイ	トゲカワニナ	タケノコカワニナ	<i>Stenomelania crenulata</i> (Deshayes)	VU	EX	EX	
80	6	内湾	新腹足	タモトガイ	マルテンスマツムシ	<i>Mitrella martensi</i> (Lischke)	CR+EN	EX	EX	
203	7	内湾	フネガイ	フネガイ	ハイガイ	<i>Tegillarca granosa</i> (Linnaeus)	VU	EX	EX	
228	8	内湾	スエモノガイ	リュウグウハゴロモガイ	オナガリュウグウハゴロモ	<i>Offadesuma nakamigawai</i> Kuroda et Horikoshi		EX	EX	
236	9	内湾	マテガイ	ナタマメガイ	アゲマキ	<i>Sinonovacula constricta</i> (Lamarck)	CR+EN	EX	EX	
253	10	内湾	ドブシジミ	ニッコウガイ	テリザクラ	<i>Iridona iridescens</i> (Benson in Cantor)	VU	EX	EX	
264	11	内湾	ドブシジミ	ニッコウガイ	イチョウシラトリ	<i>Serratina diaphana</i> (Deshayes)	CR+EN	EX	EX	
163	12	陸	柄眼	キセルガイ	トカラコギセル	<i>Reinia ashizuriensis</i> M. Azuma	CR+EN	CR	CR	
164	13	陸	柄眼	キセルガイ	ヒロクチコギセル	<i>Reinia variegata</i> (A. Adams)	CR+EN	CR	CR	
166	14	陸	柄眼	キセルガイ	ホウライジギセル	<i>Stereophaedusa ikenoi</i> Minato	CR+EN	CR	CR	
185	15	陸	柄眼	ナンパンマイマイ	オモイガケナマイマイ	<i>Aegista inexpectata</i> Kuroda et Minato	CR+EN	CR	CR	
191	16	陸	柄眼	ナンパンマイマイ	ミカワマイマイ	<i>Euhadra scaevola mikawa</i> Amano	CR+EN	CR	CR	
195	17	陸	柄眼	ナンパンマイマイ	ヤマタカマイマイ	<i>Satsuma papilliformis</i> (Kobelt)	NT	CR	CR	
48	18	淡水	エゾタマキビ	エゾマメタニシ	マメタニシ	<i>Parafossarulus manchouricus japonicus</i> (Pilsbry)	CR	CR	CR	
217	19	淡水	イシガイ	イシガイ	ササノハガイ	<i>Lanceolaria oxvrhyncha</i> (Martens)	VU	CR	CR	ササノハガイ(トンガリササノハガイ)から和名変更。
218	20	淡水	イシガイ	イシガイ	イシガイ	<i>Nodularia douglasiae</i> (Gray in Griffith et Pidgeon)		CR	CR	
219	21	淡水	イシガイ	イシガイ	カタハガイ	<i>Obovalis omiensis</i> (Heimburg)	VU	EX	CR	1箇所の狭い範囲で生貝が確認され、繁殖も行われていることがわかった(木村, 2022)。
220	22	淡水	イシガイ	イシガイ	マツカサガイ	<i>Pronodularia japonensis</i> (Lea)	NT	CR	CR	
11	23	内湾	アマオブネ	アマオブネ	ウミヒメカノコ	<i>Smaragdia</i> sp.	VU	CR	CR	
27	24	内湾	オニノツノガイ	キバウミニナ	カワアイ	<i>Pirenella pupiformis</i> Ozawa et Reid in Reid et Ozawa	VU	CR	CR	
28	25	内湾	オニノツノガイ	スナモチツボ	サナギモツボ	<i>Finella pupoides</i> A. Adams	VU	CR	CR	
33	26	内湾	エゾタマキビ	ホソスジチョウジガイ	スノメチョウジガイ	<i>Phosinella pura</i> (Gould)	NT	CR	CR	
35	27	内湾	エゾタマキビ	クリムシチョウジガイ	ゴマツボ	<i>Stosicia annulata</i> (Dunker)	VU	CR	CR	
49	28	内湾	エゾタマキビ	イシカワシタダミ	イソマイマイ	<i>Sigaretornus</i> aff. <i>planus</i> (A. Adams)	VU	CR	CR	
62	29	内湾	エゾタマキビ	シロネズミ	ハツカネズミ	<i>Macromphalus tornatilis</i> (Gould)	CR+EN	CR	CR	
90	30	内湾	新腹足	ベッコウバイ	オガイ	<i>Cantharus cecillei</i> (Philippi)	EN	CR	CR	
92	31	内湾	新腹足	アッキガイ	ツノオリイレ	<i>Boerotrophon candelabrum</i> (Reeve)		CR	CR	
94	32	内湾	新腹足	アッキガイ	ヒラドサンゴヤドリ	<i>Coralliophila jeffreysi</i> E.A. Smith		CR	CR	
99	33	内湾	新腹足	タケノコガイ	イボヒメトクサ	<i>Granuliterebra bathyrapse</i> (E.A. Smith)		CR	CR	
104	34	内湾	クルマガイ	タクミニナ	タクミニナ	<i>Mathilda sinensis</i> P. Fischer	CR	CR	CR	
114	35	内湾	アメフラシ	ウツセミガイ	ウツセミガイ	<i>Akera soluta</i> (Gmelin)		CR	CR	
116	36	内湾	トウガタガイ	トウガタガイ	イソチドリ	<i>Amathina tricarinata</i> (Linnaeus)	CR+EN	CR	CR	
120	37	内湾	イソチドリ	トウガタガイ	マキモノガイ	<i>Leucotina diana</i> (A. Adams)	CR+EN	CR	CR	
121	38	内湾	イソチドリ	トウガタガイ	ヒメゴウナ	<i>Monotygmia eximia</i> (Lischke)	NT	CR	CR	
134	39	内湾	オカミミガイ	オカミミガイ	ナラビオカミミガイ	<i>Auriculastra duplicata</i> (L. Pfeiffer)	VU	CR	CR	
138	40	内湾	オカミミガイ	オカミミガイ	クリイロコミミガイ	<i>Laemodonta siamensis</i> (Morelet)	VU	CR	CR	生息地は伊勢湾の愛知県側。
139	41	内湾	オカミミガイ	オカミミガイ	キヌカツギハマシイノミガイ	<i>Melampus sincaporensis</i> Pfeiffer	VU	CR	CR	
200	42	内湾	イガイ	イガイ	ヤマホトギス	<i>Arcuatula japonica</i> (Dunker)	NT	CR	CR	
205	43	内湾	フネガイ	サンカクサルボオ	ヨコヤマミミエガイ	<i>Verilarca interplicata</i> (Grabau et King)		CR	CR	
206	44	内湾	フネガイ	シコロエガイ	シコロエガイ	<i>Porterius dalli</i> (E.A. Smith)		CR	CR	
207	45	内湾	カキ	イタボガキ	イタボガキ	<i>Ostrea denselamellosa</i> Lischke	CR+EN	CR	CR	
212	46	内湾	イタヤガイ	イタヤガイ	ヒナノヒオウギ	<i>Mimachlamys asperulata</i> (A. Adams et Reeve)		CR	CR	
226	47	内湾	ネリガイ	オキナガイ	コオキナガイ	<i>Laternula impura</i> (Pilsbry)	CR+EN	CR	CR	
230	48	内湾	ツキガイ	ツキガイ	イセシラガイ	<i>Pegophysema bialata</i> (Pilsbry)	CR+EN	CR	CR	

第五次レッドリスト

分類群名:貝類

No. 2025 分類 順	No. 2025 区分 順	生息 環境 区分	目名 (上科名)	科名	種名 (和名)	学名	国 リスト の区分 2020	愛知県 リスト の区分 2020	愛知県 リスト の区分 2025	備考
231	49	内湾	ツクエガイ	ツクエガイ	コヅツガイ	<i>Eufistulana grandis</i> (Deshayes)	NT	CR	CR	
233	50	内湾	マテガイ	マテガイ	ダンドラマテガイ	<i>Solen kurodai</i> Habe		CR	CR	
234	51	内湾	マテガイ	マテガイ	バラフマテ	<i>Solen roseomaculatus</i> Pilsbry	NT	CR	CR	
238	52	内湾	ウロコガイ	ウロコガイ	オウギウロコガイ	<i>Galeommella utinomii</i> Habe	CR+EN	CR	CR	
242	53	内湾	ウロコガイ	ウロコガイ	イソカゼ	<i>Basterotia gouldi</i> (A. Adams)	CR+EN	CR	CR	
249	54	内湾	ウロコガイ	チリハギ	マゴコロガイ	<i>Peregrinamor ohshimai</i> Shôji	NT	CR	CR	
260	55	内湾	ドブシジミ	ニッコウガイ	ベニガイ	<i>Pharaonella sieboldii</i> (Deshayes)	NT	CR	CR	
261	56	内湾	ドブシジミ	ニッコウガイ	オオモモノハナ	<i>Plaetextellina praetexta</i> (Martens)	NT	CR	CR	
262	57	内湾	ドブシジミ	ニッコウガイ	アオサギガイ	<i>Psammacoma gubernaculum</i> (Hanley)		CR	CR	
265	58	内湾	ドブシジミ	ニッコウガイ	アワジチガイ	<i>Sylvanus lilium</i> (Hanley)		CR	CR	
271	59	内湾	ドブシジミ	シオサザナミ	フジナミ	<i>Hiatula boeddinghausi</i> (Lischke)	CR+EN	CR	CR	フジナミガイから和名変更。
277	60	内湾	マルスダレガイ	バカガイ	ヤチヨノハナガイ	<i>Raeta pellicula</i> (Reeve)	CR+EN	CR	CR	
284	61	内湾	マルスダレガイ	マルスダレガイ	ウラカガミ	<i>Dosinia corrugata</i> (Reeve)	CR+EN	CR	CR	
289	62	内湾	マルスダレガイ	ハナグモリガイ	ハナグモリ	<i>Glauconome angulata</i> Reeve	VU	CR	CR	
290	63	内湾	オオノガイ	ニオガイ	ウミタケ	<i>Barnea japonica</i> (Yokoyama)	VU	CR	CR	
44	64	陸	エゾタマキビ	カワザンショウガイ	ホラアナゴマオカチグサ近似種	<i>Cavernacmella</i> aff. <i>kuzuensis</i> (K. Suzuki)	CR+EN	EN	EN	
153	65	陸	柄眼	キバサナギガイ	キバサナギ	<i>Vertigo hirasei</i> Pilsbry	CR+EN	EN	EN	
154	66	陸	柄眼	キバサナギガイ	ヤマトキバサナギ	<i>Vertigo japonica</i> Pilsbry et Y. Hirase	VU	EN	EN	
179	67	陸	柄眼	シタラ	ハチジョウヒメベッコウ	<i>Yamatochlamys circumdata</i> (Pilsbry)	NT	EN	EN	
196	68	陸	柄眼	ナンバンマイマイ	サンエンマイマイ	<i>Satsuma</i> sp. 1	EN	EN	EN	
4	69	内湾	ニシキウズ	ニシキウズ	イボキサゴ	<i>Umbonium moniliferum</i> (Lamarck)	NT	EN	EN	
24	70	内湾	オニノツノガイ	ウミナナ	イボウミナナ	<i>Batillaria zonalis</i> (Bruguiera)	VU	CR	EN	回復傾向を示している(論文あり)。
34	71	内湾	エゾタマキビ	ホソスジチョウジガイ	スジウネリチョウジガイ	<i>Rissoina costulata</i> Dunker	VU	EN	EN	
37	72	内湾	エゾタマキビ	クビキレガイ	ハクボククビキレ	<i>Truncatella</i> sp.		EN	EN	
45	73	内湾	エゾタマキビ	カワザンショウガイ	ヘソカドガイ	<i>Paludinellassiminea japonica</i> (Pilsbry)		EN	EN	
46	74	内湾	エゾタマキビ	カワザンショウガイ	オオウスイロヘソカドガイ	<i>Paludinellassiminea tanegashimae</i> (Pilsbry)		EN	EN	
50	75	内湾	エゾタマキビ	イシカワシタダミ	ウミコハクガイ	<i>Tenostoma lucidum</i> A. Adams	VU	EN	EN	
52	76	内湾	エゾタマキビ	ワカウラツボ	ゴマツボモドキ	<i>Hyala delicata</i> (Philippi)	VU	EN	EN	
53	77	内湾	エゾタマキビ	ワカウラツボ	サザナミツボ	<i>Nozeva ziczac</i> (Fukuda et Ekawa)	NT	EN	EN	
60	78	内湾	エゾタマキビ	ハナゴウナ	ヒモイカリナマコツマミガイ	<i>Hypermastus lacteus</i> (A. Adams)	VU	CR	EN	渥美・知多半島に生息地が見つかる(論文あり)。
63	79	内湾	エゾタマキビ	タマガイ	アダムスタマガイ	<i>Cryptopnatica adamsiana</i> (Dunker)	NT	EN	EN	
78	80	内湾	新腹足	コロモガイ	オリイレボラ	<i>Scalptia scalariformis</i> (Lamarck)	VU	EN	EN	
84	81	内湾	新腹足	オリイレヨフバイ	ウネムシロ	<i>Reticunassa hiradoensis</i> (Pilsbry)	CR+EN	EN	EN	
88	82	内湾	新腹足	オリイレヨフバイ	アツミムシロ	<i>Reticunassa</i> sp.	CR+EN	EN	EN	
101	83	内湾	外鰐	カクメイ	ミカワイシン	<i>Tomura</i> sp.		EN	EN	
102	84	内湾	外鰐	カクメイ	ヤシマイシン近似種	<i>Tomura</i> cf. <i>yashima</i> Fukuda et Yamashita	CR+EN	EN	EN	
107	85	内湾	オオシイノミガイ	オオシイノミガイ	ムラクモキジビキガイ	<i>Japanacteon nipponensis</i> (Yamakawa)	NT	EN	EN	
136	86	内湾	オカミミガイ	オカミミガイ	オカミミガイ	<i>Ellobium chinense</i> (Pfeiffer)	VU	EN	EN	
211	87	内湾	カキ	ハボウキガイ	ハボウキ	<i>Pinna attenuata</i> Reeve	NT	EN	EN	
251	88	内湾	ザルガイ	ザルガイ	イシカゲガイ	<i>Keenocardium buellowi</i> (Rolle)		EN	EN	
254	89	内湾	ドブシジミ	ニッコウガイ	サビシラトリ	<i>Limecola contabulata</i> (Deshayes)	NT	EN	EN	
275	90	内湾	マルスダレガイ	バカガイ	アリソガイ	<i>Mactra antiquata</i> (Spengler)	VU	EN	EN	
283	91	内湾	マルスダレガイ	マルスダレガイ	フスマガイ	<i>Clementia papyracea</i> (Gmelin)		EN	EN	
5	92	陸	アマオブネ	ヤマキサゴ	ヤマキサゴ	<i>Waldemaria japonica</i> (A. Adams)		VU	VU	
7	93	陸	アマオブネ	ゴマオカタニシ	ベニゴマオカタニシ	<i>Georissa shikokuensis</i> Amano	VU	VU	VU	
17	94	陸	ヤマダニシ	ヤマダニシ	トウカイヤマトガイ	<i>Japonia katorii</i> Minato	VU	VU	VU	
148	95	陸	柄眼	スナガイ	スナガイ	<i>Gastrocopta armigerella</i> (Reinhardt)	NT	VU	VU	
149	96	陸	柄眼	クチミソガイ	ナニワクチミソガイ	<i>Eostrobilops nipponica reikoe</i> Matsumura et Minato	NT	VU	VU	

第五次レッドリスト

分類群名:貝類

No. 2025 分類 順	No. 2025 区分 順	生息 環境 区分	目名 (上科名)	科名	種名 (和名)	学名	国 リスト の区分 2020	愛知県 リスト の区分 2020	愛知県 リスト の区分 2025	備考
150	97	陸	柄眼	ミジンサナギガイ	ナガナタネ	<i>Columella edentula</i> (Draparnaud)	LP	VU	VU	
152	98	陸	柄眼	キバサナギガイ	ナタネキバサナギ	<i>Vertigo eogea</i> Pilsbry	VU	VU	VU	
157	99	陸	柄眼	キセルガイ	トノサマガセル	<i>Megalophaedusa ducalis</i> (Kobelt)	NT	VU	VU	
158	100	陸	柄眼	キセルガイ	ホンヒメギセル	<i>Megalophaedusa gracilispira</i> (Möllendorff)	VU	VU	VU	
161	101	陸	柄眼	キセルガイ	クビナガギセル	<i>Megalophaedusa kubinaga</i> (Kuroda)	VU	VU	VU	
176	102	陸	柄眼	シタラ	ヒラシタラ	<i>Sitalina latissima</i> (Pilsbry)	LP	VU	VU	
180	103	陸	柄眼	ベッコウマイマイ	ヒラベッコウ	<i>Bekkochlamys micrograpta</i> (Pilsbry)	DD	VU	VU	
188	104	陸	柄眼	ナンバンマイマイ	イシマキシロマイマイ	<i>Aegista calcicola</i> (Kuroda in Masuda et Habe)	VU	VU	VU	
190	105	陸	柄眼	ナンバンマイマイ	ミヤマヒダリマキマイマイ (ヒラヒダリマキマイマイ)	<i>Euhadra scaevola</i> (Martens) (<i>E. s. interioris</i> Pilsbry)	VU	VU	VU	
192	106	陸	柄眼	ナンバンマイマイ	カタマメマイマイ	<i>Lepidopisum conospira</i> (Pfeiffer)	VU	VU	VU	
194	107	陸	柄眼	ナンバンマイマイ	ミニビロウドマイマイ	<i>Nipponochloritis oscitans takedai</i> Minato	VU	VU	VU	
197	108	陸	柄眼	ナンバンマイマイ	ニヨリサンエンマイマイ	<i>Satsuma</i> sp. 2		VU	VU	
56	109	淡水	エゾタマキビ	ミズゴマツボ	ミズゴマツボ	<i>Stenothyra japonica</i> Kuroda	VU	VU	VU	
131	110	淡水	モノアラガイ	ヒラマキガイ	ミズコハクガイ	<i>Gyraulus soritai</i> Habe	VU	VU	VU	
1	111	内湾	サメハダヒザラガイ	サメハダヒザラガイ	キタサメハダヒザラガイ	<i>Leptochiton hakodatensis</i> (Thiele)		VU	VU	
2	112	内湾	サメハダヒザラガイ	サメハダヒザラガイ	サメハダヒザラガイ	<i>Leptochiton hirasei</i> (Is. Taki et Iw. Taki)		VU	VU	
9	113	内湾	アマオブネ	アマオブネ	ヒロクチカノコ	<i>Neripteron</i> sp.	NT	VU	VU	
12	114	内湾	アマオブネ	ユキスズメ	ミヤコドリ	<i>Phenacolepas pulchella</i> (Lischke)	NT	VU	VU	
13	115	内湾	アマオブネ	ユキスズメ	ツメナリミヤコドリ	<i>Phenacolepas unguiformis</i> (Gould)		VU	VU	
36	116	内湾	エゾタマキビ	クビキレガイ	ヤマトクビキレ	<i>Truncatella pfeifferi</i> Martens		VU	VU	
40	117	内湾	エゾタマキビ	カワザンショウガイ	ヨシダカワザンショウ	<i>"Angustassimineae" yoshidayukioi</i> (Kuroda)	NT	VU	VU	
47	118	内湾	エゾタマキビ	カワザンショウガイ	カハタレカワザンショウ	<i>Xenassimineae nana</i> Fukuda	VU	VU	VU	
54	119	内湾	エゾタマキビ	ワカウラツボ	ワカウラツボ	<i>Wakauria sakaguchii</i> (Kuroda et Habe)	VU	VU	VU	
57	120	内湾	エゾタマキビ	イソコハクガイ	アラウズマキ	<i>Circulus duplicatus</i> (Lischke)	VU	VU	VU	
58	121	内湾	エゾタマキビ	イソコハクガイ	シラギク	<i>Pseudoliotia pulchella</i> (Dunker)	NT	VU	VU	
64	122	内湾	エゾタマキビ	タマガイ	ネコガイ	<i>Eunoticina papilla</i> (Gmelin)	NT	VU	VU	
72	123	内湾	エゾタマキビ	イトカケガイ	オダマキ	<i>Epitonium auritum</i> (Sowerby II)	NT	VU	VU	
81	124	内湾	新腹足	タモトガイ	スミスシラゲガイ	<i>Mitrella yabei</i> (Nomura)		VU	VU	
85	125	内湾	新腹足	オリレイヨフバイ	アオモリムシロ	<i>Reticunassa hypolia</i> (Pilsbry)		VU	VU	
87	126	内湾	新腹足	オリレイヨフバイ	ヒメムシロ	<i>Reticunassa multigranosa</i> (Dunker)		VU	VU	
108	127	内湾	オオシイノミガイ	オオシイノミガイ	オオシイノミガイ	<i>Japonactaeon sieboldii</i> (Reeve)	NT	VU	VU	
109	128	内湾	オオシイノミガイ	オオシイノミガイ	コシイノミガイ	<i>Pupa strigosa</i> (Gould)		VU	VU	
111	129	内湾	頭楯	ブドウガイ	カミスジカイコガイダマシ	<i>Cylichnatys yamakawai</i> (Yokoyama)	VU	VU	VU	
119	130	内湾	トウガタガイ	トウガタガイ	スオウクチキレ	<i>Evalea suana</i> (Hori et Nakamura)	NT	VU	VU	
122	131	内湾	トウガタガイ	トウガタガイ	シダイタノウラクチキレ	<i>Parthenina</i> sp.		VU	VU	
124	132	内湾	トウガタガイ	トウガタガイ	ヌカルミシチキレ	<i>"Sayella" sp.</i>	NT	VU	VU	
137	133	内湾	オカミミガイ	オカミミガイ	ウスコミミガイ	<i>Laemodonta exaratoidea</i> Kawabe	NT	VU	VU	
141	134	内湾	オカミミガイ	オカミミガイ	ナギサノシタリガイ	<i>Microtralia acteocinoides</i> Kuroda et Habe in Habe		VU	VU	
198	135	内湾	キヌタレガイ	キヌタレガイ	アサヒキヌタレガイ	<i>Solemya japonica</i> (Dunker)	VU	VU	VU	
201	136	内湾	イガイ	イガイ	ツヤガラス	<i>Jolya rhomboidea</i> (Reeve)		VU	VU	
224	137	内湾	ネリガイ	オキナガイ	オヤイツオキナガイ	<i>Exolaternula</i> sp.	VU	VU	VU	
237	138	内湾	ウロコガイ	ウロコガイ	キザミウロコガイ属の一種	<i>Galeomma</i> sp.		VU	VU	
239	139	内湾	ウロコガイ	ウロコガイ	ニッポンマメアゲマキ	<i>Pseudogaleomma japonica</i> (A. Adams)	NT	VU	VU	
240	140	内湾	ウロコガイ	ウロコガイ	ツヤマメアゲマキ	<i>Scintilla nitidella</i> Habe		VU	VU	
247	141	内湾	ウロコガイ	チリハギ	スジホシムシモドキヤドリガイ	<i>Nipponomysella subtruncata</i> (Yokoyama)	NT	VU	VU	
248	142	内湾	ウロコガイ	チリハギ	マツモトウロコガイ	<i>Paraborniola matsumotoi</i> Habe	NT	VU	VU	
263	143	内湾	ドブシジミ	ニッコウガイ	サギガイ	<i>Rexithaerus sector</i> (Ôyama)	NT	VU	VU	

第五次レッドリスト

分類群名:貝類

No. 2025 分類 順	No. 2025 区分 順	生息 環境 区分	目名 (上科名)	科名	種名 (和名)	学名	国 リスト の区分 2020	愛知県 リスト の区分 2020	愛知県 リスト の区分 2025	備考
268	144	内湾	ドブシジミ	シオサザナミ	オチバガイ	<i>Gari chinensis</i> (Deshayes)	NT	VU	VU	
270	145	内湾	ドブシジミ	シオサザナミ	ムラサキガイ	<i>Hiatula adamsii</i> (Reeve)	VU	VU	VU	
292	146	内湾	オオノガイ	オオノガイ	ヒメマスオガイ	<i>Cryptomya busoensis</i> Yokoyama	VU	VU	VU	
293	147	内湾	オオノガイ	オオノガイ	クシケマスオ	<i>Cryptomya elliptica</i> (A. Adams)	NT	VU	VU	クシケマスオガイから和名変更。
295	148	内湾	オオノガイ	シコロクチベニ	クチベニガイ	<i>Corbula erythron</i> Lamarck		VU	VU	
6	149	陸	アマオブネ	ゴマオカタニシ	ゴマオカタニシ	<i>Georissa japonica</i> Pilsbry	NT	NT	NT	
15	150	陸	ヤマタニシ	ヤマタニシ	ムシオイガイ	<i>Chamalycaeus nipponensis</i> (Reinhardt)		NT	NT	
142	151	陸	収眼	ホソアシヒダナメクジ	イボイボナメクジ	<i>Granulilimax fuscicornis</i> Minato	NT	NT	NT	
144	152	陸	柄眼	オカモノアラガイ	ナガオカモノアラガイ	<i>Oxyloma hirasei</i> (Pilsbry)	NT	NT	NT	
147	153	陸	柄眼	キセルガイモドキ	キセルガイモドキ	<i>Mirus reinianus</i> (Kobelt)		NT	NT	
151	154	陸	柄眼	ミジンマイマイ	ヒラドマルナタネ	<i>Pupisoma harpula</i> Reinhardt		NT	NT	
156	155	陸	柄眼	キセルガイ	オクガタギセル	<i>Megalophaedusa dorcas</i> (Pilsbry)	NT	NT	NT	
159	156	陸	柄眼	キセルガイ	ホソヤカギセル	<i>Megalophaedusa hosayaka</i> (Pilsbry)	NT	NT	NT	
160	157	陸	柄眼	キセルガイ	ハチノコギセル	<i>Megalophaedusa kawasakii</i> (Kuroda)	NT	NT	NT	
165	158	陸	柄眼	キセルガイ	ミカワギセル	<i>Stereophaedusa hickonis mikawa</i> (Pilsbry)	NT	NT	NT	
167	159	陸	柄眼	シタラ	タカキビ	<i>Coneuplecta praealta</i> (Pilsbry)	NT	NT	NT	
168	160	陸	柄眼	シタラ	ウラウズタカキビ	<i>Coneuplecta</i> sp.		NT	NT	
171	161	陸	柄眼	シタラ	ヒゼンキビ	<i>Parakaliella hizenensis</i> (Pilsbry)	NT	NT	NT	
172	162	陸	柄眼	シタラ	ヒメハリマキビ	<i>Parakaliella pagoduloides</i> (Gude)	NT	NT	NT	
173	163	陸	柄眼	シタラ	スジキビ	<i>Parakaliella ruida</i> (Pilsbry)	NT	NT	NT	
174	164	陸	柄眼	シタラ	カサネシタラ	<i>Sitalina insignis</i> (Pilsbry et Y. Hirase)	NT	NT	NT	
175	165	陸	柄眼	シタラ	ウメムラシタラ	<i>Sitalina japonica</i> Habe	NT	NT	NT	
178	166	陸	柄眼	シタラ	ヒメカサキビ	<i>Trochochlamys subcrenulata</i> (Pilsbry)	NT	NT	NT	
181	167	陸	柄眼	ベッコウマイマイ	カントウベッコウ	<i>Bekkochlamys septentrionalis</i> (Jacobi)	DD	NT	NT	
182	168	陸	柄眼	ベッコウマイマイ	スカシベッコウ	<i>Bekkochlamys serena</i> (Pilsbry et Y. Hirase in Y. Hirase)	NT	NT	NT	
184	169	陸	柄眼	ナンバンマイマイ	クチマカリマイマイ	<i>Aegista cavicollis</i> (Pilsbry)	NT	NT	NT	
186	170	陸	柄眼	ナンバンマイマイ	カドコオオベソマイマイ	<i>Aegista goniosoma</i> (Pilsbry et Y. Hirase)	NT	NT	NT	
187	171	陸	柄眼	ナンバンマイマイ	フチマルオオベソマイマイ	<i>Aegista tumida</i> (Gude)	NT	NT	NT	
189	172	陸	柄眼	ナンバンマイマイ	ヒルゲンドルフマイマイ	<i>Aegista hilgendorfi</i> (Kobelt)	NT	NT	NT	
193	173	陸	柄眼	ナンバンマイマイ	ピロウドマイマイ	<i>Nipponochloritis oscitans</i> (Martens)	DD	NT	NT	
19	174	淡水	タニシ	タニシ	マルタニシ	<i>Cipangopaludina chinensis laeta</i> (Martens)	VU	NT	NT	
29	175	淡水	オニノツノガイ	カワニナ	クロダカワニナ	<i>Semisulcospira kurodai</i> Kajiyama et Habe	NT	NT	NT	※1
130	176	淡水	モノアラガイ	ヒラマキガイ	ヒラマキミズマイマイ	<i>Gyraulus chinensis spirillus</i> (Gould)	DD	NT	NT	
133	177	淡水	モノアラガイ	ヒラマキガイ	ヒラマキガイモドキ	<i>Polypylis hemisphaerula</i> (Benson in Cantor)	NT	NT	NT	
3	178	内湾	ヨメガカサ	コガモガイ	ツボミ	<i>Patelloida conulus</i> (Dunker)	NT	国リスト		東海地方全域で減少傾向が顕著となる。
14	179	内湾	アマオブネ	ユキスズメ	ヒナユキスズメ	<i>Phenacolepas</i> sp.	NT	NT	NT	
21	180	内湾	オニノツノガイ	オニノツノガイ	コオロギ(コベルトカニモリ)	<i>Cerithium dileucum</i> Philippi		NT	NT	
22	181	内湾	オニノツノガイ	オニノツノガイ	カニモリ	<i>Rhinoclavis kochi</i> (Philippi)		NT	NT	
23	182	内湾	オニノツノガイ	ウミニナ	ウミニナ	<i>Batillaria multifomis</i> (Lischke)	NT	NT	NT	
25	183	内湾	オニノツノガイ	キバウミニナ	フトヘナタリ	<i>Cerithidea moerchii</i> (A. Adams in Sowerby II)	NT	NT	NT	
26	184	内湾	オニノツノガイ	キバウミニナ	ヘナタリ	<i>Pirenella nipponica</i> Ozawa et Reid in Reid et Ozawa	NT	NT	NT	
31	185	内湾	エゾタマキビ	タマキビ	モロハタマキビ	<i>Lacuna carinifera</i> A. Adams	NT	NT	NT	
39	186	内湾	エゾタマキビ	カワザンショウガイ	クリイロカワザンショウ	<i>Angustassimineea castanea</i> (Westerlund)	NT	NT	NT	
41	187	内湾	エゾタマキビ	カワザンショウガイ	ツブカワザンショウ	<i>Assimineea estuarina</i> Habe	NT	NT	NT	
42	188	内湾	エゾタマキビ	カワザンショウガイ	ヒナタムシヤドリカワザンショウ	<i>Assimineea</i> aff. <i>parasitologica</i> Kuroda	NT	NT	NT	
51	189	内湾	エゾタマキビ	ワカウラツボ	カワグチツボ	<i>Fluviocingula elegantula</i> (A. Adams)	NT	NT	NT	
55	190	内湾	エゾタマキビ	ミズゴマツボ	エドガワミズゴマツボ	<i>Stenothyra edogawaensis</i> (Yokoyama)	NT	NT	NT	
59	191	内湾	エゾタマキビ	イソコハクガイ	ナギツボ	<i>Vitrinella</i> sp.	NT	NT	NT	

第五次レッドリスト

分類群名:貝類

No. 2025 分類 順	No. 2025 区分 順	生息 環境 区分	目名 (上科名)	科名	種名 (和名)	学名	国 リスト の区分 2020	愛知県 リスト の区分 2020	愛知県 リスト の区分 2025	備考
66	192	内湾	エゾタマキビ	タマガイ	カスミコダマ	<i>Natica buriasiensis</i> Récluz	NT	NT	NT	
67	193	内湾	エゾタマキビ	タマガイ	フロガイダマシ	<i>Naticarius concinnus</i> (Dunker)	VU	NT	NT	
71	194	内湾	エゾタマキビ	イトカケガイ	クリンイトカケ	<i>Amaea thielei</i> (de Boury)		NT	NT	
73	195	内湾	エゾタマキビ	イトカケガイ	クレハガイ	<i>Epitonium clementinum</i> (Grateloup)	NT	NT	NT	
74	196	内湾	エゾタマキビ	イトカケガイ	シノブガイ	<i>Epitonium gracile</i> (Sowerby II)		NT	NT	
75	197	内湾	エゾタマキビ	イトカケガイ	セキモリ	<i>Epitonium robillardi</i> (Sowerby III)	NT	NT	NT	
77	198	内湾	ヤツシロガイ	トウカムリ	カズラガイ	<i>Phalium flammiferum</i> (Röding)		NT	NT	
79	199	内湾	新腹足	エゾバイ	モスソガイ	<i>Volutharpa perryi</i> (Jay)		NT	NT	
82	200	内湾	新腹足	テングニシ	テングニシ	<i>Hemifusus tuba</i> (Gmelin)	NT	NT	NT	
83	201	内湾	新腹足	オリイレヨフバイ	ムシロガイ	<i>Nassarius livescens</i> (Philippi)	NT	NT	NT	
86	202	内湾	新腹足	オリイレヨフバイ	キヌボラ	<i>Reticunassa japonica</i> (A. Adams)		NT	NT	
89	203	内湾	新腹足	バイ	バイ	<i>Babylonia japonica</i> (Reeve)	NT	VU	NT	回復傾向が著しい。底引き網漁では普通だが干潟にまでは生息回復していない。
91	204	内湾	新腹足	ベッコウバイ	ナガゴマフホラダマシ (ゴマフホラダマシ)	<i>Engina menkeana</i> (Dunker)	VU	NT	NT	
95	205	内湾	新腹足	アッキガイ	オウウヨウラク	<i>Ocenebrellus inornatus</i> (Récluz)		NT	NT	
96	206	内湾	新腹足	マクラガイ	マクラガイ	<i>Oliva mustelina</i> Lamarck	NT	NT	NT	
97	207	内湾	新腹足	フデシヤジク	クリイロマンジ	<i>Pseudodaphnella leuckarti</i> (Dunker)	NT	NT	NT	
113	208	内湾	頭楯	カノキセワタ	カノキセワタガイ	<i>Philinopsis</i> sp.		NT	NT	
115	209	内湾	アメフラシ	アメフラシ	ウミナメクジ	<i>Petalifera punctulata</i> (Tapparone-Canefri)		NT	NT	
117	210	内湾	トウガタガイ	トウガタガイ	カキウラクチキレモドキ	<i>Brachystomia bipyramidata</i> (Nomura)		NT	NT	
118	211	内湾	トウガタガイ	トウガタガイ	ヒガタヨコイトカケギリ	<i>Cingulina</i> cf. <i>circinata</i> A. Adams	DD	NT	NT	
199	212	内湾	キヌタレガイ	キヌタレガイ	キヌタレガイ	<i>Solemya pusilla</i> Gould	NT	NT	NT	
204	213	内湾	フネガイ	サンカクサルボオ	ミミエガイ	<i>Striarca symmetrica</i> (Reeve)		NT	NT	
208	214	内湾	カキ	イタボガキ	クロヒメガキ	<i>Ostrea futamiensis</i> Seki		NT	NT	
209	215	内湾	カキ	ハボウキガイ	タイラギ(リシケタイラギ)	<i>Atrina lischkeana</i> (Clessin)	NT	NT	NT	
210	216	内湾	カキ	ハボウキガイ	ズベタイラギ	<i>Atrina pectinata</i> (Linnaeus)	NT	NT	NT	
223	217	内湾	ネリガイ	オキナガイ	ソトオリガイ	<i>Exolaternula liautaudi</i> (Mittre)		NT	NT	
225	218	内湾	ネリガイ	オキナガイ	オキナガイ	<i>Laternula anatina</i> (Linnaeus)		NT	NT	
229	219	内湾	ツキガイ	ツキガイ	ツキガイモドキ	<i>Lucinoma annulata</i> (Reeve)		NT	NT	
235	220	内湾	マテガイ	マテガイ	マテガイ	<i>Solen strictus</i> Gould		NT	NT	
241	221	内湾	ウロコガイ	ウロコガイ	マメアゲマキ属の一種	<i>Scintilla</i> sp.		NT	NT	
255	222	内湾	ドブシジミ	ニッコウガイ	ゴイサギ	<i>Macoma tokyoensis</i> Makiyama		NT	NT	
257	223	内湾	ドブシジミ	ニッコウガイ	ユウシオガイ	<i>Jitlada culter</i> (Hanley)	NT	NT	NT	
258	224	内湾	ドブシジミ	ニッコウガイ	サクラガイ	<i>Nitidotellina hokkaidoensis</i> (Habe)	NT	NT	NT	
259	225	内湾	ドブシジミ	ニッコウガイ	ウズザクラ	<i>Nitidotellina lischkei</i> M. Huber, Langleit et Kreipl	NT	NT	NT	
267	226	内湾	ドブシジミ	フジノハナガイ	フジノハナガイ	<i>Donax semigranulosus</i> Dunker	NT	NT	NT	
278	227	内湾	マルスダレガイ	バカガイ	ミルクイ	<i>Tresus keanae</i> (Kuroda et Habe)	VU	NT	NT	
285	228	内湾	マルスダレガイ	マルスダレガイ	ハマグリ	<i>Meretrix lusoria</i> (Röding)	VU	NT	NT	
286	229	内湾	マルスダレガイ	マルスダレガイ	イヨスダレガイ	<i>Paratapes undulatus</i> (Born)		NT	NT	
294	230	内湾	オオノガイ	オオノガイ	オオノガイ	<i>Mya arenaria</i> Linnaeus	NT	NT	NT	
16	231	陸	ヤマタニシ	ヤマタニシ	ビルスブリムシオイガイ	<i>Chamaelycaeus pilsbryi</i> (Kobelt)		DD	DD	
18	232	陸	ヤマタニシ	ヤマタニシ	サドヤマトガイ	<i>Japonia sadoensis</i> Pilsbry et Y. Hirase	NT	DD	DD	
135	233	陸	オカミミガイ	オカミミガイ	ケシガイ	<i>Carychium pessimum</i> Pilsbry	NT	DD	DD	
143	234	陸	柄眼	ナタネガイ	ミジンナタネ	<i>Punctum atomus</i> Pilsbry et Hirase			DD	微小種でこれまでの記録に近似種と本種が誤認された例もあり、情報が不足している。
145	235	陸	柄眼	オカモノアラガイ	コウフオカモノアラガイ	<i>Neosuccinea kofui</i> (Patterson)	VU		DD	※2
146	236	陸	柄眼	キセルガイモドキ	フトキセルガイモドキ	<i>Mirus japonicus</i> (Möllendorff)		DD	DD	
169	237	陸	柄眼	シタラ	ハクサンベッコウ	<i>Nipponochlamys hakusana</i> (Pilsbry et Y. Hirase in Y. Hirase)	DD		DD	県内の分布域の詳細が判明しておらず、過去のデータも極めて少ない。

第五次レッドリスト

分類群名: 貝類

No. 2025 分類 順	No. 2025 区分 順	生息 環境 区分	目名 (上科名)	科名	種名 (和名)	学名	国 リスト の区分 2020	愛知県 リスト の区分 2020	愛知県 リスト の区分 2025	備考
170	238	陸	柄眼	シタラ	トガリキビ	<i>Parakaliella acutanguloides</i> Kuroda et Azuma	DD		DD	県内の分布域の詳細が判明しておらず、過去のデータも極めて少ない。
183	239	陸	柄眼	オオコウラナメクジ	オオコウラナメクジ	<i>Nipponarion carinatus</i> Yamaguchi et Habe	NT		DD	県内の分布域の詳細が判明しておらず、過去のデータも極めて少ない。
38	240	淡水	エゾタマキビ	スマツボ	カワネミジンツボ	<i>Akiyoshia kawanensis</i> Habe, in Masuda et Habe	DD		DD	特殊な環境(地下水系)に生息するが、情報が不足している。
126	241	淡水	モノアラガイ	モノアラガイ	モノアラガイ	<i>Radix cf. japonica</i> (Jay)	NT	DD	DD	
128	242	淡水	モノアラガイ	ヒラマキガイ	カワコザラ	<i>Ferrissia nipponica</i> (Kuroda in S. Uchida)	CR		DD	2023年、外来種のメリケンコザラと明らかに異なる在来種として生息確認。
132	243	淡水	モノアラガイ	ヒラマキガイ	ヒメヒラマキミズマイマイ	<i>Gyraulus</i> sp.	EN		DD	2023年、ヒラマキミズマイマイの幼貝と明らかに異なる本種の生息確認。
213	244	淡水	イシガイ	イシガイ	フネドブガイ	<i>Anemina arcaeiformis</i> (Heude)		DD	DD	移入個体群の可能性が高い。
214	245	淡水	イシガイ	イシガイ	カラスガイ	<i>Cristaria plicata</i> (Leach)	EN	DD	DD	
221	246	淡水	イシガイ	イシガイ	ドブガイ	<i>Unionidae</i> gen. spp.		NT	DD	※3
252	247	淡水	ドブシジミ	ドブシジミ	ニホンマメシジミ	<i>Pisidium nipponense</i> Kuroda		DD	DD	
288	248	淡水	マルスダレガイ	シジミ	マシジミ	<i>Corbicula leana</i> Prime	VU	DD	DD	
8	249	内湾	アマオブネ	アマオブネ	ヒメカノコ	<i>Clithon</i> aff. <i>oualaniense</i> (Lesson)	NT	DD	DD	
10	250	内湾	アマオブネ	アマオブネ	ウミヒメカノコ属の一種	<i>Smaragdia</i> cf. <i>souverbiana</i> (Montrouzier in Souverbie et Montrouzier)		DD	DD	
32	251	内湾	エゾタマキビ	タマキビ	ヘソカドタマキビ	<i>Lacuna smithi</i> Pilsbry		DD	DD	
43	252	内湾	エゾタマキビ	カワザンショウガイ	カワザンショウガイ科の一種	<i>Assimineia</i> sp.		DD	DD	
61	253	内湾	エゾタマキビ	シロネズミ	ヒナツボ	<i>Berthais egregia</i> (A. Adams)		DD	DD	
68	254	内湾	エゾタマキビ	タマガイ	ツガイ	<i>Sinum incisum</i> (Sowerby I in Reeve)	NT	DD	DD	
69	255	内湾	エゾタマキビ	タマガイ	ツツミガイ	<i>Sinum planulatum</i> (Récluz in Chenu)	NT	DD	DD	
70	256	内湾	エゾタマキビ	イトカケガイ	ウネナシイトカケ	<i>Acrilla acuminata</i> (Sowerby II)	VU	DD	DD	
76	257	内湾	スイショウガイ	スイショウガイ	フドロ	<i>Margistrombus robustus</i> (G.B. Sowerby III)	NT	DD	DD	
93	258	内湾	新腹足	アツキガイ	オニサザエ	<i>Chicoreus asianus</i> Kuroda	NT	DD	DD	
98	259	内湾	新腹足	タケノコガイ	イワカワトクサ	<i>Duplicaria evoluta</i> (Deshayes)	VU	DD	DD	
100	260	内湾	外鰓	カクメイ	ヤマトカクメイ	<i>Cornirostra</i> sp.	DD	DD	DD	
103	261	内湾	外鰓	ガラスシタダミ	シンジュノナミダ	<i>Xenoskenea</i> sp.	DD	DD	DD	
105	262	内湾	ミジンハグルマガイ	キマツボ	ギリツボ近似種	<i>Graphis</i> sp.		DD	DD	
106	263	内湾	異形	ガクバンゴウナ	イリエゴウナ	<i>Ebala</i> sp.	VU	DD	DD	
110	264	内湾	頭楯	クダタマガイ	シグマクダタマ	<i>Cylichna sigmolabris</i> (Habe et Ando)		DD	DD	
112	265	内湾	頭楯	カノキセワタ	ヤミヨキセワタ類	<i>Melanochlamys</i> spp.	DD	DD	DD	
123	266	内湾	トウガタガイ	トウガタガイ	シゲヤスイトカケギリ	<i>Pyrgulina shigeyasui</i> (Yokoyama)	NT	DD	DD	シゲヤスイトカケギリ(カゴメイトカケギリ)から和名変更。
125	267	内湾	トウガタガイ	トウガタガイ	ウネイトカケギリ	<i>Turbonilla scrobiculata</i> Yokoyama	NT	DD	DD	
140	268	内湾	オカミミガイ	オカミミガイ	ハマシイノミガイ	<i>Melampus nuxeastaneus</i> Kuroda		DD	DD	
227	269	内湾	スエモノガイ	スエモノガイ	シナヤカスエモノガイ	<i>Thracia concinna</i> Reeve	VU		DD	確認例が1例(死殻2個体)のみで、情報が不足している。
232	270	内湾	マテガイ	マテガイ	オオマテガイ	<i>Solen grandis</i> Dunker		DD	DD	
243	271	内湾	ウロコガイ	チリハギ	ガタヅキ(コハギガイ)	<i>Arthritica</i> cf. <i>reikoei</i> (T. Suzuki et Kosuge)	DD	DD	DD	
244	272	内湾	ウロコガイ	チリハギ	ツルマルケボリ	<i>Borniopsis tsurumaru</i> Habe	VU	DD	DD	
245	273	内湾	ウロコガイ	チリハギ	オカメブンブクヤドリガイ	<i>Montacuta echinocardiophila</i> Habe		DD	DD	
246	274	内湾	ウロコガイ	チリハギ	マルヘノジガイ	<i>Nipponomysella oblongata</i> (Yokoyama)		DD	DD	
250	275	内湾	ウロコガイ	チリハギ	オキナノエガオ	<i>Platomyia rugata</i> Habe	CR+EN	DD	DD	
256	276	内湾	ドブシジミ	ニッコウガイ	モモノハナ	<i>Moerella hilaris</i> (Hanley)	NT	DD	DD	
266	277	内湾	ドブシジミ	フジノハナガイ	ナミノコ	<i>Donax cuneatus</i> Linnaeus	NT	DD	DD	
269	278	内湾	ドブシジミ	シオサザナミ	ハザクラ	<i>Gari minor</i> (Deshayes)	NT	DD	DD	
272	279	内湾	ドブシジミ	キヌタアゲマキ	キヌタアゲマキ	<i>Solecurtus divaricatus</i> (Lischke)	NT	DD	DD	
273	280	内湾	マルスダレガイ	バカガイ	オオトリガイ	<i>Lutraria maxima</i> Jonas	NT	DD	DD	
274	281	内湾	マルスダレガイ	バカガイ	カモジガイ	<i>Lutraria rhynchaena</i> Jonas	NT	DD	DD	
276	282	内湾	マルスダレガイ	バカガイ	ユキガイ	<i>Meropesta nicobarica</i> (Gmelin)	NT	DD	DD	
281	283	内湾	マルスダレガイ	マルスダレガイ	シオヤガイ	<i>Anomalodiscus squamosus</i> (Linnaeus)	NT	DD	DD	
282	284	内湾	マルスダレガイ	マルスダレガイ	ウスハマグリ	<i>Aphrodora kurodai</i> (Matsubara)	CR+EN	DD	DD	

第五次レッドリスト

分類群名: 貝類

No. 2025 分類 順	No. 2025 区分 順	生息 環境 区分	目名 (上科名)	科名	種名 (和名)	学名	国 リスト の区分 2020	愛知県 リスト の区分 2020	愛知県 リスト の区分 2025	備考
291	285	内湾	オオノガイ	フナクイムシ	ネムグリガイ	<i>Zachsia zenkewitschi</i> Bulatoff et Rjabtschikoff		DD	DD	
155	286	陸	柄眼	キセルガイ	エルベリギセル	<i>Megalophaedusa aurantiaca moellendorffi</i> (Nordsieck)	DD	国リスト	国リスト	
162	287	陸	柄眼	キセルガイ	オオギセル	<i>Megalophaedusa martensi</i> (Martens)	NT	国リスト	国リスト	
177	288	陸	柄眼	シタラ	オオウエキビ	<i>Trochochlamys fraterna</i> (Pilsbry)	DD	国リスト	国リスト	
20	289	淡水	タニシ	タニシ	オオタニシ	<i>Cipangopaludina japonica</i> (Martens)	NT	国リスト	国リスト	
287	290	淡水	マルスダレガイ	シジミ	ヤマトシジミ	<i>Corbicula japonica</i> Prime	NT	国リスト	国リスト	
65	291	内湾	エゾタマキビ	タマガイ	サキグロタマツメタ	<i>Laguncula pulchella</i> Benson in Cantor	CR+EN	国リスト	国リスト	県内で確認される個体は移入個体。
202	292	内湾	イガイ	イガイ	コケガラス	<i>Modiolus modulaides</i> (Röding)	NT	国リスト	国リスト	県内で確認される個体は移入個体。
222	293	内湾	ネリガイ	サザナミガイ	オビクイ	<i>Entodesma navicula</i> (A. Adams et Reeve)	VU	国リスト	国リスト	
279	294	内湾	マルスダレガイ	チドリマスオ	クチバガイ	<i>Coecella chinensis</i> (Deshayes)	NT	国リスト	国リスト	
280	295	内湾	マルスダレガイ	フナガタガイ	ウネナシトマヤガイ	<i>Neotrapezium liratum</i> (Reeve)	NT	国リスト	国リスト	
			合 計				220	286	295	-

備考

表中の着色部は、今回の見直しによってリストから除外された種を示す。
※1: 本県内の旧クロダカワニナ (NT) にはクロダカワニナとサキガケカワニナの2種が存在することが遺伝子解析により本年明らかにされた (1種隠蔽種が新種記載された) が、本県レッドリストとしてカテゴリー区分を判断できるほど県内のモニタリング調査が十分でなく、過去のデータとの比較も十分でない。このため、本リストにおいては従前通りクロダカワニナ1種として取り扱った。なお、今後のモニタリング結果次第では、種を分割して各種のカテゴリー区分を変更することが予想される。
※2: ヒメオカモノアラガイなどを含めた本種群については、一地域での断片的な産出状況が報告されているが、調査不足や分類学的な区別の困難さから過去の生息状況との比較もできておらず、本リストでは情報不足として掲載した。
※3: 近年のDNA解析による分類学的な進展で、旧リストでNTと評価したドブガイには最近発見されている近似種、移入個体群が混同されている可能性があり、現状では評価自体が困難な状況となっている。現状では同定が困難な種であるが、今回は情報不足としてリストに残すこととした。

目および科の区分、配列の方法 (参考文献名等)

目または上科・科の配列と名称は福田 (2021) に、種の配列及び和名、学名は、原則として「岡山県野生生物目録2019 21軟体動物門」 (岡山県野生動植物調査検討会編, 2019) に従った。
福田 宏, 2021. *Biology and Evolution of the Mollusca* で提唱された軟体動物の分類体系と和名の対応. Molluscan Diversity 6 (2): 89-180.
また、各種の生息環境区分 (陸: 陸産貝類、淡水: 淡水産貝類、内湾: 内湾産貝類) を示した。